

(様式第 10)

口大医総第 2 4 3 号
令和元年 1 0 月 4 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人山口大学長
岡 正 朗

山口大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 30 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1
氏 名	国立大学法人 山口大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

山口大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒755-8505 山口県宇部市南小串 1 - 1 - 1 電話 (0836) 22-2111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
①呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科
④脳神経内科	6血液内科	7内分泌内科
9感染症内科	⑩アレルギー疾患内科またはアレルギー科	⑪リウマチ科
診療実績		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

- 2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有	無
外科と組み合わせた診療科名		
①呼吸器外科	②消化器外科	3乳腺外科
5血管外科	⑥心臓血管外科	7内分泌外科
4心臓外科		
⑧小児外科		
診療実績		

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

- 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	⑬麻酔科	⑭救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名		
1小児歯科 2矯正歯科 ③歯科口腔外科		
歯科の診療体制		
本院は、歯科医師を有する特定機能病院である。		

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

- 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1心療内科	2臨床検査科	3病理診断科	4リハビリテーション科	5形成外科	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
43床	床	床	床	713床	756床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	218人	219人	356.5人	看護補助者	49人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	5人	14人	16.2人	理学療法士	16人	臨床検査技師	58人
薬 剤 師	55人	0人	55人	作業療法士	8人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	7人	その他	0人
助 産 師	28人	0人	28人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	764人	25人	782.0人	臨床工学士	18人	医療社会事業従事者	8人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	10人	その他の技術員	24人
歯科衛生士	1人	2人	2.5人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	228人
管理栄養士	14人	0人	14人	診療放射線技師	46人	その他の職員	40人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	36人	眼 科 専 門 医	12人
外 科 専 門 医	39人	耳鼻咽喉科専門医	13人
精 神 科 専 門 医	6人	放射線科専門医	8人
小 児 科 専 門 医	26人	脳神経外科専門医	11人
皮 膚 科 専 門 医	4人	整形外科専門医	13人
泌尿器科専門医	10人	麻 酔 科 専 門 医	14人
産婦人科専門医	10人	救 急 科 専 門 医	12人
		合 計	214人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名(杉野 法広) 任命年月日 平成29年 4月 1日

医療の質・安全管理委員会委員(平成19年4月1日～現在)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	569.8 人	13.4 人	583.2 人
1日当たり平均外来患者数	1,268.4 人	71.7 人	1,340.1 人
1日当たり平均調剤数	2422 剤		
必要医師数	134.65人		
必要歯科医師数	6人		
必要薬剤師数	30人		
必要（准）看護師数	344人		

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設の構造設備						
施設名	床面積	主要構造	設 備		概 要	
集中治療室	353.9 m ²	鉄筋鉄骨 コンクリート	病 床 数	16 床	心 電 計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	239.4 m ²		病床数	23 床
	[移動式の場合]	台 数	11台			
医 薬 品 情報管理室	[専用室の場合]	床 積	47 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	435 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学血液検分析装置及びライン			
細菌検査室	87 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット、オートクレーブ、細菌同定感受性装置			
病理検査室	428 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 卓上フード型局所排気装置、自動包埋装置、自動染色装置			
病理解剖室	479 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 剖検台、写真撮影装置、煮沸滅菌器			
研 究 室	10,650m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 光トポグラフィ装置、遺伝子発現解析システム			
講 義 室	1,837 m ²	鉄筋コンクリート	室数	10室	収容定員	1,284人
図 書 室	572 m ²	鉄筋コンクリート	室数	18室	蔵 書 数	約16万冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	90.4%	逆紹介率	72.7%
算出根拠	A: 紹介患者の数		11,229 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		9,938 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,135 人
	D: 初診の患者の数		13,678 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
河村 康明	山口県医師会	○	医療に係る安全管理に関する専門的知識を有するため	有・無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
大田 明登	大田明登法律事務所		法律に関する識見を有するため	有・無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
玉田 英生	宇部興産株式会社		医療を受ける者の代表者	有・無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法 大学ウェブページに委員名簿及び選定理由を掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
角膜ジストロフィーの遺伝子解析	3人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変に対する自己骨髄細胞投与療法 C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変(Child-Pugh分類による点数が七点以上のものであって、従来の治療法(肝移植術を除く。)ではその治療に係る効果が認められないものに限る。)	0人
水素ガス吸入療法 心停止後症候群(院外における心停止後に院外又は救急外来において自己心拍が再開し、かつ、心原性心停止が推定されるものに限る。)	3人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
1 球脊髄性筋萎縮症	5	56 ベーチェット病	38
2 筋萎縮性側索硬化症	39	57 特発性拡張型心筋症	28
3 脊髄性筋萎縮症	3	58 肥大型心筋症	4
4 原発性側索硬化症	0	59 拘束型心筋症	1
5 進行性核上性麻痺	4	60 再生不良性貧血	9
6 パーキンソン病	140	61 自己免疫性溶血性貧血	0
7 大脳皮質基底核変性症	6	62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8 ハンチントン病	2	63 特発性血小板減少性紫斑病	21
9 神経有棘赤血球症	0	64 血栓性血小板減少性紫斑病	2
10 シャルコー・マリール・トゥース病	4	65 原発性免疫不全症候群	4
11 重症筋無力症	64	66 IgA 腎症	19
12 先天性筋無力症候群	0	67 多発性嚢胞腎	8
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	89	68 黄色靱帯骨化症	31
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	37	69 後縦靱帯骨化症	117
15 封入体筋炎	3	70 広範脊柱管狭窄症	15
16 クロウ・深瀬症候群	1	71 特発性大腿骨頭壊死症	37
17 多系統萎縮症	3	72 下垂体性ADH分泌異常症	3
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	26	73 下垂体性TSH分泌亢進症	1
19 ライソゾーム病	3	74 下垂体性PRL分泌亢進症	4
20 副腎白質ジストロフィー	1	75 クッシング病	3
21 ミトコンドリア病	5	76 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
22 もやもや病	37	77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	14
23 プリオン病	0	78 下垂体前葉機能低下症	44
24 亜急性硬化性全脳炎	0	79 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25 進行性多巣性白質脳症	0	80 甲状腺ホルモン不応症	0
26 HTLV-1関連脊髄症	1	81 先天性副腎皮質酵素欠損症	4
27 特発性基底核石灰化症	1	82 先天性副腎低形成症	0
28 全身性アミロイドーシス	5	83 アジソン病	0
29 ウルリッヒ病	0	84 サルコイドーシス	62
30 遠位型ミオパチー	3	85 特発性間質性肺炎	24
31 ベスレムミオパチー	0	86 肺動脈性肺高血圧症	13
32 自己食空腔性ミオパチー	0	87 肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	1
33 シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	3
34 神経線維腫症	16	89 リンパ脈管筋腫症	2
35 天疱瘡	7	90 網膜色素変性症	19
36 表皮水疱症	0	91 バッド・キアリ症候群	1
37 膿疱性乾癬(汎発型)	8	92 特発性門脈圧亢進症	0
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93 原発性胆汁性肝硬変	44
39 中毒性表皮壊死症	0	94 原発性硬化性胆管炎	3
40 高安動脈炎	10	95 自己免疫性肝炎	14
41 巨細胞性動脈炎	1	96 クローン病	110
42 結節性多発動脈炎	5	97 潰瘍性大腸炎	143
43 顕微鏡的多発血管炎	21	98 好酸球性消化管疾患	1
44 多発血管炎性肉芽腫症	14	99 慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	7	100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46 悪性関節リウマチ	9	101 腸管神経節細胞減少症	0
47 パージャール病	10	102 ルビンシュタイン・ティビ症候群	0
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	0	103 CFC症候群	0
49 全身性エリテマトーデス	144	104 コステロ症候群	0
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	66	105 チャージ症候群	0
51 全身性強皮症	68	106 クリオピリン関連周期熱症候群	1
52 混合性結合組織病	18	107 全身型若年性特発性関節炎	2
53 シェーグレン症候群	24	108 TNF受容体関連周期性症候群	0
54 成人スチル病	3	109 非典型溶血性尿毒症症候群	0
55 再発性多発軟骨炎	0	110 ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
111 先天性ミオパチー	3	161 家族性良性慢性天疱瘡	0
112 マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	9
113 筋ジストロフィー	8	163 特発性後天性全身性無汗症	2
114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164 眼皮膚白皮症	0
115 遺伝性周期性四肢麻痺	0	165 肥厚性皮膚骨膜炎	0
116 アトピー性脊髄炎	1	166 弾性線維性仮性黄色腫	0
117 脊髄空洞症	2	167 マルフアン症候群	2
118 脊髄髄膜瘤	0	168 エーラス・ダンロス症候群	1
119 アイザックス症候群	1	169 メンケス病	0
120 遺伝性ジストニア	0	170 オクシタル・ホーン症候群	0
121 神経フェリチン症	0	171 ウィルソン病	1
122 脳表ヘモジデリン沈着症	0	172 低ホスファターゼ症	0
123 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173 VATER症候群	1
124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174 那須・ハコラ病	0
125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175 ウィーバー症候群	0
126 ペリー症候群	0	176 コフィン・ローリー症候群	0
127 前頭側頭葉変性症	2	177 有馬症候群	0
128 ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178 モワット・ウィルソン症候群	0
129 痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179 ウィリアムズ症候群	0
130 先天性無痛無汗症	0	180 ATR-X症候群	0
131 アレキサンダー病	0	181 クルーゾン症候群	0
132 先天性核上性球麻痺	0	182 アペール症候群	0
133 メビウス症候群	0	183 ファイファー症候群	0
134 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184 アントレー・ピクスラー症候群	0
135 アイカルディ症候群	0	185 コフィン・シリス症候群	0
136 片側巨脳症	0	186 ロスムンド・トムソン症候群	0
137 限局性皮質異形成	0	187 歌舞伎症候群	0
138 神経細胞移動異常症	0	188 多脾症候群	0
139 先天性大脳白質形成不全症	0	189 無脾症候群	0
140 ドラベ症候群	0	190 鰓耳腎症候群	0
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191 ウェルナー症候群	0
142 ミオクロニー欠神てんかん	0	192 コケイン症候群	0
143 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193 ブラダー・ウィリ症候群	0
144 レノックス・ガストー症候群	0	194 ソース症候群	0
145 ウエスト症候群	0	195 ヌーナン症候群	0
146 大田原症候群	0	196 ヤング・シンプソン症候群	0
147 早期ミオクロニー脳症	0	197 1p36欠失症候群	0
148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198 4p欠失症候群	0
149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199 5p欠失症候群	0
150 環状20番染色体症候群	0	200 第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151 ラスムッセン脳炎	0	201 アンジェルマン症候群	0
152 PCDH19関連症候群	0	202 スミス・マギニス症候群	0
153 難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203 22q11.2欠失症候群	0
154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204 エマヌエル症候群	0
155 ランドウ・クレフナー症候群	0	205 脆弱X症候群関連疾患	0
156 レット症候群	0	206 脆弱X症候群	0
157 スタージ・ウェーバー症候群	0	207 総動脈幹遺残症	0
158 結節性硬化症	1	208 修正大血管転位症	0
159 色素性乾皮症	0	209 完全大血管転位症	0
160 先天性魚鱗癬	0	210 単心室症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
211 左心低形成症候群	0	259 レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	1
212 三尖弁閉鎖症	0	260 シトステロール血症	0
213 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261 タンジール病	0
214 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262 原発性高カイトミクロン血症	0
215 ファロー四徴症	0	263 脳髄黄色腫症	0
216 両大血管右室起始症	0	264 無 β リボタンパク血症	0
217 エプスタイン病	0	265 脂肪萎縮症	0
218 アルポート症候群	0	266 家族性地中海熱	1
219 ギャロウェイ・モフト症候群	0	267 高IgD症候群	0
220 急速進行性糸球体腎炎	2	268 中條・西村症候群	0
221 抗糸球体基底膜腎炎	1	269 化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222 一次性ネフローゼ症候群	13	270 慢性再発性多発性骨髄炎	0
223 一次性腹性増殖性糸球体腎炎	0	271 強直性脊椎炎	4
224 紫斑病性腎炎	1	272 進行性骨化性線維異形成症	0
225 先天性腎性尿崩症	0	273 肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226 間質性膀胱炎(ハンナ型)	2	274 骨形成不全症	0
227 オスラー病	2	275 タナトフォリック骨異形成症	0
228 閉塞性細気管支炎	0	276 軟骨無形成症	0
229 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277 リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230 肺胞低換気症候群	0	278 巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231 α 1-アンチトリプシン欠乏症	0	279 巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	1
232 カーニー複合	0	280 巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
233 ウォルフラム症候群	0	281 クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234 ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282 先天性赤血球形成異常性貧血	0
235 副甲状腺機能低下症	0	283 後天性赤芽球癆	3
236 偽性副甲状腺機能低下症	0	284 ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237 副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285 ファンconi貧血	0
238 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286 遺伝性鉄芽球性貧血	0
239 ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287 エプスタイン症候群	0
240 フェニルケトン尿症	0	288 自己免疫性出血病XIII	0
241 高チロシン血症1型	0	289 クロンカイト・カナダ症候群	0
242 高チロシン血症2型	0	290 非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243 高チロシン血症3型	0	291 ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)	0
244 メーブルシロップ尿症	0	292 総排泄腔外反症	0
245 プロピオン酸血症	0	293 総排泄腔遺残	0
246 メチルマロン酸血症	0	294 先天性横隔膜ヘルニア	0
247 イソ吉草酸血症	0	295 乳幼児肝巨大血管腫	0
248 グルコーストランスポーター1欠損症	0	296 胆道閉鎖症	1
249 グルタル酸血症1型	0	297 アラジール症候群	0
250 グルタル酸血症2型	0	298 遺伝性膝炎	0
251 尿素サイクル異常症	0	299 嚢胞性線維症	0
252 リジン尿性蛋白不耐症	0	300 IgG4関連疾患	6
253 先天性葉酸吸収不全	0	301 黄斑ジストロフィー	1
254 ボルフィリン症	0	302 レーベル遺伝性視神経症	0
255 複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303 アッシャー症候群	2
256 筋型糖原病	0	304 若年発症型両側性感音難聴	0
257 肝型糖原病	0	305 遅発性内リンパ水腫	0
258 ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306 好酸球性副鼻腔炎	33

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
307 カナバン病	0	319 セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308 進行性白質脳症	0	320 先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309 進行性ミオクローヌスてんかん	0	321 非ケトーシス型高グリシン血症	0
310 先天異常症候群	0	322 β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311 先天性三尖弁狭窄症	0	323 芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312 先天性僧帽弁狭窄症	0	324 メチルグルタコン酸尿症	0
313 先天性肺静脈狭窄症	0	325 遺伝性自己炎症疾患	0
314 左肺動脈右肺動脈起始症	0	326 大理石骨病	0
315 ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327 特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316 カルニチン回路異常症	0	328 前眼部形成異常	0
317 三頭酵素欠損症	0	329 無虹彩症	0
318 シトリン欠損症	0	330 先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・データ提出加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・入退院支援加算
・特定機能病院入院基本料	・精神疾患診療体制加算
・超急性期脳卒中加算	・精神科急性期医師配置加算
・診療録管理体制加算2	・救命救急入院料4
・医師事務作業補助体制加算1	・特定集中治療室管理料2
・急性期看護補助体制加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・看護職員夜間配置加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・看護補助加算	・小児入院医療管理料2
・療養環境加算	・
・療養環境加算	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・後発医薬品使用体制加算2	・
・病棟薬剤業務実施加算1	・
・病棟薬剤業務実施加算2	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・遺伝カウンセリング加算
・ウイルス疾患指導料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・がん性疼痛緩和指導管理料	・胎児心エコー法
・がん患者指導管理料イ	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・がん患者指導管理料ロ	・ヘッドアップティルト試験
・外来緩和ケア管理料	・人工臓器検査、人工臓器療法
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・長期継続頭蓋内脳波検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・光トポグラフィー
・糖尿病透析予防指導管理料	・神経学的検査
・乳腺炎重症化予防・ケア指導料	・補聴器適合検査
・外来放射線照射診療料	・ロービジョン検査判断料
・がん治療連携計画策定料	・コンタクトレンズ検査料1
・肝炎インターフェロン治療計画料	・小児食物アレルギー負荷検査
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・内服・点滴誘発試験
・薬剤管理指導料	・CT透視下気管支鏡検査加算
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・画像診断管理加算2
・医療機器安全管理料1	・CT撮影及びMRI撮影
・医療機器安全管理料2	・冠動脈CT撮影加算
・医療機器安全管理料(歯科)	・外傷全身CT加算
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・心臓MRI撮影加算
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・乳房MRI撮影加算
・遺伝学的検査	・小児鎮静下MRI撮影加算
・骨髓微小残存病変量測定	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・外来化学療法加算1
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・無菌製剤処理料
・検体検査管理加算(IV)	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・羊膜移植術
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・がん患者リハビリテーション料	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・精神科作業療法	・網膜再建術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・人工中耳植込術
・医療保護入院等診療料	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・硬膜外自家血注入	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・人工腎臓	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・長短縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)等
・磁気による膀胱等刺激法	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・CAD/CAM冠	・胸腔鏡下弁形成術
・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2	・経カテーテル大動脈弁置換術
・センチネルリンパ節加算	・胸腔鏡下弁置換術
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・経皮的中心筋焼灼術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極拔去術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	・輸血管理料Ⅰ
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・コーディネート体制充実加算
・補助人工心臓	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・歯周組織再生誘導手術
・胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・腹腔鏡下肝切除術	・麻酔管理料(Ⅰ)
・生体部分肝移植術	・麻酔管理料(Ⅱ)
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・外来放射線治療加算
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・1回線量増加加算
・同種死体腎移植術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・生体腎移植術	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・膀胱水圧拡張術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・定位放射線治療
・人工尿道括約筋植込・置換術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・画像誘導密封小線源治療加算
・腹腔鏡下仙骨腫固定術	・病理診断管理加算1
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	・口腔病理診断管理加算1
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1	
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1	
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1	
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	10回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 22 例 / 剖検率 12.5 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
次世代型CAR-T細胞療法等の革新的新規免疫療法の開発(29-A-7)	玉田 耕治	免疫学講座	1,000,000	補 (委)	国立研究開発法人 国立がん研究センター
次世代型CAR-T細胞療法等の革新的新規免疫療法の開発(28-A-8)	玉田 耕治	免疫学講座	1,000,000	補 (委)	国立研究開発法人 国立がん研究センター
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	300,000	補 (委)	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
乳児アトピー性皮膚炎への早期介入と経口免疫寛容誘導によるアレルギーマーチへの影響を探索する前向きコホート研究	長谷川 俊史	小児科学講座	390,000	補 (委)	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
神経疾患における免疫病態の解明と治療法開発に関する研究	神田 隆	臨床神経学講座	500,000	補 (委)	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
がん認識抗体と遺伝子導入T細胞による難治性B細胞性悪性リンパ腫を対象とした第I相医師主導臨床試験(革新的がん医療実用化研究事業)	玉田 耕治	免疫学講座	92,034,475	補 (委)	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
局所脳冷却による脳神経保護装置の開発	鈴木 倫保	脳神経外科学講座	45,146,000	補 (委)	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
免疫抑制に対する制御能を有するCAR-T細胞を利用したがん治療法の研究	玉田 耕治	免疫学講座	38,449,000	補 (委)	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
既存の診療情報と一体的に運用可能な症例登録システムの構築とアウトカム指標等の分析・利活用に関する研究	石田 博	医療情報判断学講座	31,725,271	補 (委)	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
眼科硝子体手術普及のための眼内内視鏡保持ロボット開発	木村 和博	眼科学講座	4,000,000	補 (委)	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
疾患モデル高度化による視床下部・下垂体難病研究	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	3,310,000	補 (委)	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
がん検体の臨床像解析	裕 彰一	共同研究講座(先端がん治療開発学講座)	2,600,000	補 (委)	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
抗疲労効果の判定における酸化ストレスからの検証	野島 順三	基礎検査学講座	3,250,000	補 (委)	国立研究開発法人 理化学研究所
モデル動物等研究コーディネーティングネットワークによる希少・未診断疾患の病因遺伝子変異候補の機能解析研究	清木 誠	システムズ再生・病態医化学講座	1,950,000	補 (委)	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
フェノタイプ・エンドタイプに着目した本邦の喘息患者における3年間予後の検討	松山 豪泰	泌尿器科学講座	74,520	補 (委)	独立行政法人国立病院機構 東京病院
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	下村 裕	皮膚科学講座	1,200,000	補 (委)	山口県知事
安全に安心して分娩することができる環境づくり	杉野 法広	産科婦人科学講座	2,400,000	補 (委)	浜田市
ロンサーフ(TFTD)使用症例の後ろ向き観察(コホート)研究(JFMC50-1701-C6)	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	480,600	補 (委)	公益財団法人 がん集学的治療研究財団
JFMC49-1601-C5(EPOC2 study) 食道癌患者へのDCF療法時における成分栄養剤の口腔粘膜抑制作用の検討-エレンタール非投与群を対照群としたランダム化第III相比較臨床試験(EPOC2 study)-	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	108,000	補 (委)	公益財団法人 がん集学的治療研究財団
安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサパン単剤療法に関する臨床研究(AFIRE Study)	矢野 雅文	器官病態内科学講座	162,000	補 (委)	公益財団法人 循環器病研究振興財団

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究-ダルベエポエチン アルファ製剤低反応に関する検討-(BRIGHTEN)	松山 豪泰	泌尿器科学講座	129,600	補 (委)	公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究J-DOIT3(追跡)	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	300,000	補 (委)	公益財団法人 日本糖尿病財団
治験の実施に関する研究[5ALA]	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	1,297,800	補 (委)	公益社団法人 日本医師会
治験の実施に関する研究(ペランパネル)	神田 隆	臨床神経学講座	1,079,390	補 (委)	公益社団法人 日本医師会
治験の実施に関する研究[g-CSF]	坂井 孝司	整形外科科学講座	1,031,940	補 (委)	公益社団法人 日本医師会
治験の実施に関する研究[ファスジル] 【CCT-C-3012】	矢野 雅文	器官病態内科学講座	397,800	補 (委)	公益社団法人 日本医師会
トログリフロジンの安全性および有効性の検討・前向き観察研究	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	210,000	補 (委)	公益社団法人 日本糖尿病協会
酸化ストレス・抗酸化評価による健康・未病指標開発研究	野島 順三	基礎検査学講座	1,650,000	補 (委)	国立研究開発法人 理化学研究所
INCF日本'ノート'ダイナミックブレインプラットフォーム(PF)の構築	浅井 義之	システムバイオイン フォマティクス講座	550,000	補 (委)	国立研究開発法人 理化学研究所
個別化医療に有用な消化器系遺伝子検査システムの研究開発	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	7,570,000	補 (委)	東洋鋼鉄株式会社
細胞製剤をgoalとした医療産業実現のためのプロセス構築およびサプライチェーンの事業化(地域イノベーション・エコシステム形成プログラム:事業化プロジェクト)	玉田 耕治	免疫学講座	71,200,000	補 (委)	文部科学省
局所脳冷却を軸とした革新的脳神経外科疾患治療法の確立と事業化(地域イノベーション・エコシステム形成プログラム:基盤構築プロジェクト)	鈴木 倫保	脳神経外科学講座	10,000,000	補 (委)	文部科学省
ヒアルロン酸を基にした神経変性疾患および認知症治療薬の開発	林田 直樹	医化学講座	1,500,000	補 (委)	国立大学法人岡山大学
DNAメチル化定量を利用した子宮筋腫および肉腫の識別診断チップの開発	杉野 法広	産科婦人科学講座	1,500,000	補 (委)	国立大学法人岡山大学
がん幹細胞様細胞を標的とする肝胆膵領域がんの再発予防薬の開発	恒富 亮一	第二外科	1,000,000	補 (委)	国立大学法人岡山大学
肝臓再生療法(培養ヒト骨髄細胞肝動脈投与療法)の開発・実用化及びロボット細胞培養システム等の高機能化	坂井田 功	消化器内科学講座	20,000,000	補 (委)	山口県
医療・健康分野における水素応用技術開発	松本 美志也	麻酔・蘇生学講座	5,637,000	補 (委)	山口県
卵巣顆粒膜細胞の黄体化に伴う遺伝子発現制御機構の解明	杉野 法広	産科婦人科学講座	750,000	補 (委)	美祿市
うつ病患者における疾患バイオマーカーの確立	中川 伸	高次脳機能病態学講座	375,000	補 (委)	美祿市
薬剤関連性顎骨壊死(MRONJ)患者の臨床統計調査	三島 克章	歯科口腔外科学講座	375,000	補 (委)	美祿市
てんかん病態ダイナミクスの多面的計測による理解と局所脳冷却による制御	鈴木 倫保	脳神経外科学講座	39,520,000	補 (委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臨床検査値調和化ネットワークの構築と大規模症例集積によるEBLM実践環境の創出	市原 清志	病態検査学講座	11,830,000	補 (委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 22

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
免疫チェックポイント阻害療法のさらなる効果向上を目指した基盤的がん免疫研究	玉田 耕治	免疫学講座	11,050,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
HSP1による新規転写調節機構を介したプロテオスタシス維持機構の解明	中井 彰	医化学講座	6,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性消化器癌に対する次世代型鉄キレート剤治療の確立	山崎 隆弘	臨床検査・腫瘍学講座	5,850,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
構音障害の病態解明を目指す数値流体音響解析を用いた構音シミュレーション法の開発	三島 克章	歯科口腔外科学講座	5,850,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
中大型動物を用いた肝線維化評価モデルによる高効率肝臓再生療法の開発と機序解明	坂井田 功	消化器内科学講座	5,720,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアソシン受容体結合カルモジュリン制御による心不全・心肥大・不整脈の包括的治療	矢野 雅文	器官病態内科学講座	5,590,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
マクロファージ機能の選択的制御による新たな大動脈瘤退縮治療法の開発	吉村 耕一	器官病態外科学講座	5,460,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
YAP による臓器全体の物理特性制御の分子機構の解明	清水 誠	システムズ再生・病態 医化学講座	5,200,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
温度生物学を基盤とした新規神経治療パラダイムの創成	野村 貞宏	脳神経外科学講座	5,070,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脂質二重膜での心筋小胞体Ca ²⁺ 輸送調節装置の超微細構造解析と創薬への応用	乾 誠	薬理学講座	4,810,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
YAPメカノホメオスタシスによるほ乳類脳の3次元構築メカニズムの解明	清水 誠	システムズ再生・病態 医化学講座	4,680,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液脳関門構成細胞のクロストークを利用した中枢神経自己免疫疾患新規治療法の開発	神田 隆	臨床神経学講座	4,160,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
生体の物理特性を反映する革新的組織培養法の開発	清水 誠	システムズ再生・病態 医化学講座	2,860,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
視交叉上核による室傍核領域の概日振動制御機構の解明	升本 宏平	神経解剖学講座	2,860,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
深層学習を用いた肺腫瘍判別によるマーカーレス四次元動体追跡放射線治療の確立	椎木 健裕	放射線治療部	2,860,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
運動トレーニングによる一次運動野V層細胞のシナプス強化メカニズム解明	木田 裕之	神経生理学講座	2,730,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
遺伝子改変マウスにおけるSTB/HAPIの中心体関連分子局在制御と神経細胞保護	篠田 晃	神経解剖学講座	2,600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ストレス回避学習による海馬シナプスの多様化と情報量解析	美津島 大	神経生理学講座	2,600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管疾患特有の力学刺激-免疫連関に着目した抗炎症・修復促進療法の開発	吉村 耕一	器官病態外科学講座	2,600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
産後うつ病の発症脆弱性に関わる脳内分子神経基盤の解明	樋口 尚子	精神科神経科	2,600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
小児プロテインC欠乏症の発症時期に関する包括的リスク評価	井上 裕文	小児科	2,600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜脱落膜化における C/EBP β によるゲノムワイドヒストン制御機構の解明	田村 功	総合周産期母子医療センター	2,470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新たなメロニンの作用の発見と新規の抗肥満の開発に向けた基礎的検討	岡田 真紀	産科婦人科学講座	2,470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
一酸化炭素中毒の病態解明と水素ガス吸入による新規治療法の確立	藤田 基	救急・総合診療医学講座	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性口腔癌に対する鉄取り込み阻害またはフォロトーシス誘導による新規治療法の開発	原田 耕志	歯科口腔外科学講座	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Dclk1に注目した大腸癌新規治療の開発-5FUとDclk1阻害薬の併用療法-	竹本 圭宏	第一外科	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 26

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
前立腺癌3D-organoid骨微小環境モデルの開発と骨転移機序の解明	松山 豪泰	泌尿器科学講座	2,210,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
飲酒と主要栄養素変更の併存が動脈硬化症の進展と心臓性突然死発症に及ぼす影響の解明	劉 金耀	法医学講座	2,210,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
多面的アプローチによる外胚葉形成不全症の発症機序の解明	下村 裕	皮膚科学講座	2,210,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
低炭水化物/高蛋白食で誘導される膵α細胞量増加と白色脂肪細胞褐色化の機序の解明	奥屋 茂	大学教育機構保健管理センター	2,210,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
1細胞解析法による乳癌内分泌療法抵抗性の解明-血中循環腫瘍細胞からのアプローチ	山本 滋	消化器・腫瘍外科学講座	2,210,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Elucidation of in vivo protective effects of huntingtin-associated protein 1 against motor neuron degeneration.	MD. NABIUL ISLAM	神経解剖学講座	2,210,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管新生能が高いマウスで発現する細胞外microRNAを用いた血管新生治療法開発	上野 耕司	第一外科	2,210,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
デスモリン2の遺伝子変異に起因する心筋症の分子機序の解明	福田 昌和	第二内科	2,210,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
卵巣顆粒膜細胞の黄体化に伴うVegf遺伝子発現の転写調節機序の解明	品川 征大	総合周産期母子医療センター	2,210,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
熱ショック転写因子HSF2による脳神経系保護機序の解明	林田 直樹	医化学講座	2,080,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
レチノイン酸受容体リガンドを介した網膜下癰疽形成抑制機序の解明	木村 和博	眼科学講座	2,080,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
がんと間質に特化した大腸がんマイクロRNAの解析に基づく免疫療法の効果予測	竹之内 寛子	消化器・腫瘍外科学講座	2,080,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
PGD2およびヒスタミンを介したかゆみの分子機序解明とその治療薬開発	守田 裕希子	眼科学講座	2,080,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
オートファジー活性制御を介した肝細胞がん幹細胞に対する治療法の開発	藤原 信行	消化器・腫瘍外科学講座	2,080,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エンテロウイルスD68による小児急性弛緩性麻痺の病態解明と治療法の確立	松重 武志	小児科	2,080,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自己免疫性神経疾患の多様性をもたらす細菌因子の同定	古賀 道明	脳神経内科	2,080,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液網膜バリアに着目したVEGFを標的とし加齢黄斑変性の治療法の開発	柳井 亮二	眼科	2,080,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Calreticulin陽性膵癌幹細胞の癌幹細胞性および病態生理の解析	松隈 聡	第二外科	2,080,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
虚血プレコンディショニングによる生体内アペリン分泌増加を応用した血管新生治療	佐村 誠	第一外科	2,080,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
双胎間輸血症候群の受血児心疾患の予知を目的とした超音波・生化学マーカーの有用性	村田 晋	産科婦人科	2,037,590	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
シナプス内外のNMDA受容体シグナル伝達機序の違いに注目した新たな脊髄保護戦略	松本 美志也	麻酔・蘇生学講座	1,950,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
浸透圧応答性転写因子NFATに着目した膠芽腫の壊死周囲微小環境の病態解析	木村 徳宏	病理形態学講座	1,950,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
造血幹細胞移植の予後に対するHLAと非HLA遺伝子の相互作用の効果の解析	高橋 秀和	公衆衛生学・予防医学講座	1,950,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
生体分子モーター内部で起きる非平衡散逸の定量と数値モデル解析	有賀 隆行	ゲノム・機能分子解析学講座	1,950,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腎癌発症転移に関与する長鎖non-coding RNAの同定	平田 寛	泌尿器科	1,950,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
再生医療に用いる新規高品質間葉系幹細胞の開発	藤澤 浩一	寄附講座(肝臓再生基盤学講座)	1,950,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 26

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
術前腫瘍量因子と血清メチル化遺伝子による肝癌予後予測システムの構築	徳光 幸生	共同研究講座(先端がん治療開発学講座)	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
温度感受性タンパク (TRP) チャネルを用いた脳低温療法機序の分子の解明	篠山 瑞也	脳神経外科学講座	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
IVR併用・培養骨髄由来間葉系幹細胞投与による低侵襲・高効率肝臓再生療法の開発	石川 剛	消化器内科学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大腸癌肝転移に関与する癌微小環境におけるmicroRNAの機能解析	飯田 通久	消化器・腫瘍外科学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症虚血肢患者の背景疾患に着目した幹細胞プレコンディショニング法の開発	桂 春作	医学教育学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
漏出細胞内タンパク質の新しい細胞外機能:受容体を共有する単球・内皮での役割と作用	泉 友則	消化器内科学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝星細胞のエネルギー代謝に着目した肝線維抑制法の開発	岩本 拓也	消化器内科学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腫瘍微小環境中の細胞内シグナルを制御する次世代型キメラ抗原受容体T細胞の開発	安達 圭志	免疫学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膵がん幹細胞特異抗原に対するマルチHLA結合性ペプチドの同定と新規免疫療法の開発	裕 彰一	共同研究講座(先端がん治療開発学講座)	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肥大型心筋症におけるリアノジン受容体安定化による新しい分子標的療法の開発	奥田 真一	第二内科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
他家MSCs細胞シート移植による心機能改善効果の検討	中村 玉美	第一外科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
非肺静脈/上大静脈起源持続性心房細動に対する新たなup stream治療の構築	吉賀 康裕	器官病態内科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
再発予防を目的としたneurofeedbackと情動調整によるうつ病治療法の開発	松原 敏郎	高次脳機能病態学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
炎症細胞表面分子をターゲットにした劇症型急性肺炎の治療法の開発	長谷川 明洋	ゲノム・機能分子解析学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
急性巣状細菌性腎炎の非侵襲的早期診断法および新規治療法の確立	水谷 誠	小児科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
A cross-cultural intervention study in Japan Thailand and Australia comparison of mental health education for university	MCMaster ROSANNA	基礎看護学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経系血管/リアーの人為的調節に基づく難治性神経系疾患の新規治療法開発	池田 栄二	病理形態学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体内ドメイン制御による新しい不整脈、心不全治療	山本 健	病態検査学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膵癌幹細胞および腫瘍微小環境をターゲットとする個別化診療への展開	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
低酸素刺激を併用した心筋幹細胞シート移植による重症心不全治療法の開発	美甘 章仁	器官病態外科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗リン脂質抗体症候群における抗リン脂質抗体と酸化ストレスの相乗的向血栓作用の解明	本木 由香里	基礎検査学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
COPDの身体活動性障害における末梢気道由来窒素化ストレスの役割と制御機構の探索	平野 綱彦	呼吸器・感染症内科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
他家線維芽細胞シートを用いた難治性皮膚潰瘍に対する再生医療法の開発	鈴木 亮	器官病態外科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
病態進行時期に注目した炎症反応制御による脊髄虚血保護効果の研究	山下 敦生	麻酔科蘇生科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
cell-free再生医療の幹細胞エクソソームによる脊髄虚血再灌流障害軽減法開発	森景 則保	第一外科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カテコラミン誘発性心室頻拍(CPVT)におけるリアノジン受容体異常の機序解明	内海 仁志	第二内科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 26

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
大腸癌細胞の解糖系を介した抗癌剤耐性獲得におけるc-MYCの役割解明	釘宮 成二	器官病態外科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮頸癌のCBR1増加による上皮間葉転換抑制作用を介した新たな分子標的薬の開発	梶邑 匠彌	産科婦人科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
股関節疾患における関節不安定性の関与の解明と治療評価	坂井 孝司	整形外科科学講座	1,581,378	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヘテロ機能化セラノスティクス・ナノ粒子の腫瘍組織へのアクティブ・インベージョン	中村 教泰	器官解剖学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
DNA損傷刺激によるHSF1-PARP複合体の転写制御とDNA修復機構の解明	藤本 充章	医化学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
視床下部-下垂体-副腎皮質系の活動性による層別化からのうつ病バイオマーカー探索	中川 伸	高次脳機能病態学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
川崎病患児におけるビタミンD欠乏;治療応用への発展	鈴木 康夫	小児科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自然免疫因子を新規バイオマーカーとした非ウイルス性肝がんの早期診断法開発	田邊 剛	公衆衛生学・予防医学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
積層化細胞シートを用いた難治性皮膚潰瘍に対する再生医療法の開発	高橋 雅弥	器官病態外科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膵臓癌の早期確定診断を指向したマルチモーダルイメージング粒子の開発	西尾 忠	器官解剖学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症心不全に対する心筋幹細胞エクソソームによるCell-free治療法の開発	蔵澄 宏之	器官病態外科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規に同定した細胞接着斑分子paxillinが血管収縮における役割の解明	張 影	分子細胞生理学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ホスホランパンを標的とした新たな環状ペプチド薬の創出と心不全治療薬への応用	本田 健	薬理学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液脳関門と血液神経関門の人為的変化を可能とする新規生物学的製剤の創薬	清水 文崇	脳神経内科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体を分子標的とした心不全・不整脈の新たな治療開発	小林 茂樹	器官病態内科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
老化制御による新規骨髄増殖性腫瘍治療法の開発	湯尻 俊昭	病態検査学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
MED12突然変異のない子宮筋腫のサブタイプの同定と特異的なマスター遺伝子の検出	佐藤 俊	産科婦人科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ペットネコからヒトへの猫ひっかき病感染防御を目指したネコに対するワクチン開発	大津山 賢一郎	病態検査学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
遺伝子転写制御ネットワーク解析で見出したマスター遺伝子による子宮内膜症細胞の誘導	前川 亮	総合周産期母子医療センター	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大動脈瘤に対するマクロファージ特異的FAK阻害療法の開発	原田 剛佑	第一外科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規薬剤性肝障害バイオマーカーの探索および肝障害発症予測システムの確立	北原 隆志	臨床薬理学講座	1,516,379	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
インシリコとモノをつなぐ汎用的双方向シミュレーションフレームワーク開発と実証研究	浅井 義之	システムバイオインフォマティクス講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
免疫チェックポイント機構の制御能力を有する新規CAR-T細胞療法の開発	佐古田 幸美	免疫学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
進化的アプローチとプロテオーム解析を基盤とした熱ショック応答機構の解明	瀧井 良祐	医化学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
がん選択的化学療法の実現を目指した細胞内滞留型プロドラッグの開発	堂浦 智裕	器官解剖学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
情動性記憶の脳内処理プロセスの解明	石川 淳子	法医学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
猫ひっかき病急性期診断のための特異IgM抗体検出高感度ELISAの確立と病態解明	常岡 英弘	病態検査学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 27

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝硬変症に対する高機能細胞製剤の予期的培養法とセルフリー肝臓再生療法の開発	高見 太郎	寄附講座(肝臓再生基盤学講座)	1,430,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
ストレス脆弱性モデルマウスを用いたマイクロRNAのうつ病態に対する役割の解析	樋口 文宏	精神科神経科	1,430,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
二種類の骨髄由来肝臓修復細胞による効率的な肝臓再生療法の開発	山本 直樹	大学教育機構保健管理センター	1,430,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
Wolfram症候群によってβ細胞死を引き起こすターゲットの同定と治療法の確立	田口 昭彦	病態制御内科学講座	1,430,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性皮膚潰瘍に対する他家細胞移植を見据えた積層細胞シート凍結保存法の開発	白澤 文吾	医学教育学講座	1,430,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
児童生徒の食塩摂取量を減らすための地域介入方法の開発	奥田 昌之	機械工学分野	1,430,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
飲酒後の吸収相における呼気中アルコール動態モデルの検討	姫宮 彩子	病理診断科	1,430,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
カルモジュリンの心筋細胞内動態を標的とした新しい心肥大、心不全抑制治療法の探索	小田 哲郎	第二内科	1,430,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
うつ病マーカーとなる糖タンパク質の同定とマウス脳内における機能解析	山形 弘隆	精神科神経科	1,430,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
脱落膜化によって活性化されるマスター遺伝子を中心とした転写ネットワークの解明	竹谷 俊明	産科婦人科	1,430,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
胃癌における抗PD-1抗体の効果予測—末梢血と局所の免疫担当細胞の機能解析	吉野 茂文	腫瘍センター	1,430,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
免疫チェックポイント阻害剤併用がん免疫療法におけるバイオマーカーの探索	鈴木 伸明	消化器・腫瘍外科学講座	1,430,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗がん剤抵抗性非小細胞肺癌に対するRNA修飾酵素の役割解明	田中 俊樹	手術部	1,430,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
Changes in tactile perception peripheral circulation and blood biomarkers induced by controlled vibration exposure in elderly Ja	ホセイン マハブブ	公衆衛生学・予防医学講座	1,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝細胞癌転移抑制に向けた、癌幹細胞特性を示す独自誘導Shere細胞の標的分子解析	恒富 亮一	第二外科	1,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗リン脂質抗体症候群の検査診断指針の作成と動静脈血栓症発症機序の解明	野島 順三	基礎検査学講座	1,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
皮膚筋炎における骨格筋微小血管障害の分子メカニズムの解明	佐野 泰照	臨床神経学講座	1,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
胃癌に対する免疫チェックポイント分子阻害剤の適切かつ有効な応用	西川 潤	基礎検査学講座	1,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
膵β細胞脱分化・運命転換の成因解明に基づいた糖尿病治療の研究	田部 勝也	第三内科	1,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
ゼブラフィッシュ側線器有毛細胞シナプス障害モデルを用いた薬物のスクリーニング	廣瀬 敬信	耳鼻咽喉科	1,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
失明疾患モデルにおけるグルタミン酸を用いた内在性幹細胞誘導による網膜再生法の確立	徳田 和央	眼科	1,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
3D光干渉断層法と数値流体力学を用いた冠動脈側枝狭窄の予測と専用ステントの開発	岡村 誉之	第二内科	1,300,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
個別化医療への応用を目指したインターフェロンの腫瘍細胞増殖抑制効果に関する研究	近藤 智子	分子病理学講座	1,170,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
フローサイトメトリー解析による赤血球結合IgG定量法の開発	山城 安啓	病態検査学講座	1,170,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
超高感度メチル化解析法を用いた便DNA検査による大腸腫瘍スクリーニング精度の検証	末廣 寛	臨床検査・腫瘍学講座	1,170,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
終末期がん患者のスピリチュアルペインに向き合う看護師の臨床推論と介入モデルの特徴	田中 愛子	基礎看護学講座	1,170,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 26

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
既婚男女の家族計画支援方法確立に向けた基礎的研究	亀崎 明子	母子看護学講座	1,170,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
ファミリー・バイオレンス予防のための地域参加型育児支援システムの開発	藤村 一美	地域・老年看護学講座	1,170,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
皮膚創傷治癒促進作用を有する環状ペプチドの作用機序解明とその応用	乾 誠	薬理学講座	1,170,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
プリオン様タンパク質が引き起こす発癌機構の解明	北川 孝雄	システムズ再生・病態医化学講座	1,170,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
糖尿病に伴う難聴予防における終末糖化産物の役割	菅原 一真	耳鼻咽喉科学講座	1,170,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
軽症頭部外傷における器質的損傷と機能的予後予測への血清バイオマーカーの応用	末廣 栄一	先進救急医療センター	1,170,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
高発現遺伝子と低発現遺伝子を組合せた大腸癌の新規腫瘍マーカーの確立	西岡 光昭	検査部	1,170,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
NASH、NASH発癌における非侵襲的検査による早期診断の確立	日高 勲	肝疾患センター	1,170,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
食道癌化学療法の早期効果予測マーカー開発による個別化化学療法の確立	北原 正博	第二外科	1,170,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
内視鏡からの光による新規消化管感染症治療法の開発	岡本 健志	光学医療診療部	1,170,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
新生児・乳児消化管アレルギーの病態解明と診断法の確立	福田 謙	小児科	1,170,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
自己免疫性脾炎様病態自然発症マウスモデルを用いた病態制御機構の解明	柴田 健輔	ゲノム・機能分子解析学講座	1,087,355	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管平滑筋異常収縮シグナル伝達においてカルパインと細胞骨格が果たす役割の解明	岸 博子	分子細胞生理学講座	1,040,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
皮膚三次元モデルを用いた尋常性乾癬におけるHippo-Yes-YAP経路の解明	古元 礼子	システムズ再生・病態医化学講座	1,040,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
快刺激映像を用いたアクティビティクアによる認知症高齢者の自律神経活動活性化の試み	堤 雅恵	地域・老年看護学講座	1,040,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
精神担当保健師のための「同僚と10分で困難事例対応能力を向上させる業務モデル」	守田 孝恵	地域・老年看護学講座	1,040,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
妊娠先行型結婚をした男性が父親役割に適切にいくプロセスと父親のケア・ニーズ	河本 恵理	母子看護学講座	1,040,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
頭部外傷後脳神経細胞アポトーシスにおける小胞体カルシウムイオンチャネルの関与	戸谷 昌樹	先進救急医療センター	1,040,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
気管支喘息における末梢気道の機能障害を評価するイメージングバイオマーカーの確立	大石 景士	第二内科	1,040,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
三次元器官の構築と維持を司るHippo-Yapシグナル伝達系の解析	浅岡 洋一	ゲノム・機能分子解析学講座	910,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
メルトニンは卵胞閉鎖を抑制して発育卵胞数、排卵数を増加させる	田村 博史	産科婦人科学講座	910,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
患者の意向に沿った家族の効力感を高める意思決定支援介入プログラムの開発	伊東 美佐江	母子看護学講座	910,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
心疾患手術後患者・家族看護のための退院指導アプリケーション作成と有効性の検証	佐伯 京子	臨床看護学講座	910,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗癌剤耐性口腔扁平上皮癌細胞に対する免疫チェックポイント阻害剤併用療法の開発	FERDOUS TARANNUM	歯科口腔外科	910,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
iPS由来GABAergic neuron移植による難治性疼痛治療	鈴木 秀典	整形外科科学講座	780,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業
クリティカルケアにおける臨床倫理分析・調整システムツールの開発	山勢 博彰	臨床看護学講座	780,000	(補委) 日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 26

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
脳血管収縮の治療標的分子の同定	森田 知佳	分子細胞生理学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
稀少な染色体異常症のある児と家族に向けた支援ネットワークの構築	沓脱 小枝子	母子看護学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
民生委員を対象にした精神障害者が生活し続けるための地域づくりプログラムの開発	磯村 聡子	地域・老年看護学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
去勢抵抗性前立腺癌における神経内分泌癌への進展機序と薬剤選択マーカーの開発	松本 洋明	泌尿器科	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
スピリチュアルケア看護卒後教育プログラムの構築に向けての基礎的研究	生田 奈美可	基礎看護学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
噛みごたえのある固形食物を用いた高齢者の咀嚼・嚥下機能維持・改善プログラムの開発	河村 敦子	地域・老年看護学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
四肢虚血リモートプレコンディショニングと酸化ストレス、フリーラジカルの関与	山下 理	麻酔・蘇生学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
地域密着型サービスを拠点とした認知症高齢者のエイジング・イン・プレイスの実現	永田 千鶴	地域・老年看護学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
講義から臨床実習への橋渡しを可能にする新しい授業評価尺度の開発	大達 亮	臨床看護学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人工呼吸器患者の口腔ケア支援アプリケーションを用いた教育効果と口腔機能管理の向上	田戸 朝美	臨床看護学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺癌の呼吸性移動特性の定量化のための深層学習を用いた新しい四次元MRI構築法の開発	藤本 昂也	放射線部	530,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
溶血インデックスを用いた再探血基準値の設定	石黒 旭代	検査部	530,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳死下臓器提供における家族看護ケア指針の開発	山本 小奈実	臨床看護学講座	520,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カテーテル人工弁留置後弁周囲逆流の診断精度向上とデバイス-ホスト連関に関する研究	立石 裕樹	第二内科	520,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
オートファジー・マイトファジーを標的とした虚血性心疾患の新規治療法開発	齊藤 寿郎	第一外科	1,000,000	補委	MSD生命科学財団
HSF1複合体によるエピジェネティックな遺伝子発現制御	藤本 充章	医化学講座	5,000,000	補委	上原記念生命科学財団
意思決定の実験パラダイムによりうつ病の薬物治療反応性を予測できるバイオマーカーの開発	陳 冲	高次脳機能病態学講座	1,000,000	補委	かなえ医薬振興財団
カルモジュリン依存性キナーゼ(CaMKII)を介した炎症性シグナルの抑制による新規心不全治療の開発	末富 建	第二内科	1,000,000	補委	かなえ医薬振興財団
新規糖尿病治療標的の創出を目指した膵β細胞脱分化機構解明に関する研究	椎木 幾久子	寄附講座(分子代謝制御学講座)	1,000,000	補委	公益財団法人 MSD生命科学財団
不飽和脂肪酸複合剤服用による炎症抑制及び内在性網膜幹細胞誘導を併用した高齢者の悪性糖尿病網膜症に対する新規治療法の開発	徳田 和央	眼科	1,000,000	補委	公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
成長期卓球選手の障害予防と栄養相談	小笠 博義	リハビリテーション部	400,000	補委	公益財団法人 日本卓球協会
新たな糖脂質代謝レギュレーターとしての時計遺伝子B4BP4の役割解明	田口 昭彦	病態制御内科学講座	1,000,000	補委	鈴木謙三記念医科学応用研究財団
尿中アンジオテンシノーゲンを用いた尿路奇形の早期発見および治療法の確立	橘高 節明	小児科	500,000	補委	森永奉仕会
虚血性心疾患におけるミトコンドリアのautophagy(mitophagy)の分子機構解明と、これに介入する新規治療法開発	齊藤 寿郎	第一外科	2,000,000	補委	循環器学研究振興基金
がん組織内部における細胞間レベルでの新しい硬さ計測系の樹立	有賀 隆行	ゲノム・機能分子解析学講座	1,000,000	補委	新日本先進医療研究財団
染色体分配関連因子による熱ショック応答の制御	瀧井 良祐	医化学講座	2,000,000	補委	武田科学振興財団
				小計	26
				合計	225

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Doura T., Tamanoi F., Nakamura M.	器官解剖 学	Miniaturization of thiol- organosilica nanoparticles induced by an anionic surfactant	Journal of Colloid and Interface Science・2018 Sep 15	Article
2	Nakamura M.	器官解剖 学	Organosilica Nanoparticles and Medical Imaging (Chapter 8)	The Enzymes・2018 Oct 5 Online	Book Chapter
3	Doura T., Nishio T., Tamanoi F., et al.	器官解剖 学	Relationship between the glutathione-responsive degradability of thiol-organosilica nanoparticles and the chemical structures	Journal of Materials Research・2019 Feb 6 Online 2019年4月15日出版	Article
4	Sakimoto Y., Sakata S.	神経生理 学	The role of the hippocampal theta rhythm in non-spatial discrimination and associative learning task	Neuroscience and Biobehavioral Reviews・2018 Sep 25	Article in Press
5	Ariga T., Tomishige M., Mizuno D.	システムズ 再生・病態 医化学	Nonequilibrium Energetics of Molecular Motor Kinesin	Physical Review Letters・ 2018 Nov 23	Article
6	Asaoka Y., Morita H., Furumoto H., et al.	システムズ 再生・病態 医化学	Studying YAP-Mediated 3D Morphogenesis Using Fish Embryos and Human Spheroids	Methods in Molecular Biology・2019 Jan	Book Chapter
7	Takii R., Kadowaki T., Tsukuba T., et al.	医化学	Inhibition of gingipains prevents Porphyromonas gingivalis-induced preterm birth and fetal death in pregnant mice	European Journal of Pharmacology・2018 Apr 5	Article
8	Fujimoto M., Takii R., Katiyar A., et al.	医化学	Poly(ADP-ribose) polymerase 1 promotes the human heat shock response by facilitating heat shock transcription factor 1 binding to DNA	Molecular and Cellular Biology・2018 Jun 14	Article

小計8件

9	Honda T., Inui M.	薬理学	PDZRN3 regulates differentiation of myoblasts into myotubes through transcriptional and posttranslational control of Id2	Journal of Cellular Physiology・2019 Mar	Article
10	Kuramasu A., Wakabayashi M., Inui M., et al.	薬理学	Distinct roles of small GTPases RAC1 and RAC2 in histamine H 4 receptor-mediated chemotaxis of mast cells	Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics・2018 Oct	Article
11	Asaoka Y., Morita H., Furumoto H., et al.	ゲノム・機能分子解析学	Studying YAP-Mediated 3D Morphogenesis Using Fish Embryos and Human Spheroids	Methods in Molecular Biology・2019	Book Chapter
12	Liu J, Himemiya-Hakuchō A, Liu X., et al.	法医学	The chronic complex stress combined atherogenic diet accelerates the process of atherosclerosis in mice	Integrative Molecular Medicine・201808	Article
13	Adachi K., Kano Y., Nagai T., et al.	免疫学	IL-7 and CCL19 expression in CAR-T cells improves immune cell infiltration and CAR-T cell survival in the tumor	Nature Biotechnology・2018 Apr	Article
14	Adachi K., Tamada K.	免疫学	Microbial biomarkers for immune checkpoint blockade therapy against cancer	Journal of Gastroenterology・2018 Sep	Review
15	Fujisawa K., Takami T., Okada S., et al.	消化器内科学	Analysis of Metabolomic Changes in Mesenchymal Stem Cells on Treatment with Desferrioxamine as a Hypoxia Mimetic Compared with Hypoxic Conditions	Stem Cells・2018 Aug	Article
16	Fujisawa K., Hara K., Takami T., et al.	消化器内科学	Evaluation of the effects of ascorbic acid on metabolism of human mesenchymal stem cells	Stem Cell Research and Therapy・2018 Apr 6	Article
17	Goto A., Nishikawa J., Ito S., Hideura E., et al.	消化器内科学	A Rapidly Developing Diffuse Large B cell Lymphoma of the Stomach	Journal of Gastrointestinal Cancer・2018 Apr 6	Article in Press

小計9件

18	Saeki I., Yamasaki T., Maeda M., et al.	消化器内科学	No muscle depletion with high visceral fat as a novel beneficial biomarker of sorafenib for hepatocellular carcinoma	Liver Cancer•2018 Oct	Article
19	Shinoda S., Kaino S., Amano S., et al.	消化器内科学	Deferasirox, an oral iron chelator, with gemcitabine synergistically inhibits pancreatic cancer cell growth in vitro and in vivo	Oncotarget•2018 Jun 19	Article
20	Ishikawa T., Sasaki R., Nishimura T., et al.	消化器内科学	Comparison of patients with hepatic encephalopathy and those with gastric varices before and after balloon-occluded retrograde transvenous obliteration	Hepatology Research•2018 Nov	Article
21	Ishikawa T., Sasaki R., Nishimura T., et al.	消化器内科学	Liver stiffness measured by transient elastography as predictor of prognoses following portosystemic shunt occlusion	Journal of Gastroenterology and Hepatology (Australia)•2019 Jan	Article
22	Iwamoto T., Maeda M., Saeki I., et al.	消化器内科学	Analysis of tolvaptan non-responders and outcomes of tolvaptan treatment of ascites	Journal of Gastroenterology and Hepatology (Australia)•2018 Oct 29	Article in Press
23	Fujisawa K., Takami T., Fukui Y., et al.	消化器内科学	Assessment of high-fat-diet-induced fatty liver in medaka	Biology Open•2018 Nov 22	Article
24	Takami T., Tani K., Taura Y., et al.	消化器内科学	Canine Liver Fibrosis Model to Assess the Functions of Infused Autologous Bone Marrow-Derived Cells	Methods in molecular biology (Clifton, N.J.)•2019	Article
25	Saeki I., Yamasaki T., Maeda M., et al.	消化器内科学	Treatment strategies for advanced hepatocellular carcinoma: Sorafenib vs hepatic arterial infusion chemotherapy	World Journal of Hepatology•2018 Sep 27	Review
26	Nishimura T., Takami T., Sasaki R., et al.	消化器内科学	Liver regeneration therapy through the hepatic artery-infusion of cultured bone marrow cells in a canine liver fibrosis model	PLoS ONE•2019 Jan 23	Article

小計9件

27	Yoshiga Y., Shimizu A., Ueyama T., et al.	器官病態内科学	Strict sequential catheter ablation strategy targeting the pulmonary veins and superior vena cava for persistent atrial fibrillation	Journal of Cardiology•2018 Aug	Article
28	Tateishi H., Miyazaki Y., Okamura T., et al.	器官病態内科学	Role of computed tomography in planning the appropriate x-ray gantry for quantitative aortography of post-transcatheter aortic valve implantation regurgitation	Circulation Journal•2018 Jun 25	Article
29	Tateishi H., Miyazaki Y., Okamura T., et al.	器官病態内科学	Inter-technique consistency and prognostic value of intra-procedural angiographic and echocardiographic assessment of aortic regurgitation after transcatheter aortic valve implantation	Circulation Journal•2018 Aug 24	Article
30	Oda T., Yamamoto T., Kato T., et al.	器官病態内科学	Nuclear translocation of calmodulin in pathological cardiac hypertrophy originates from ryanodine receptor bound calmodulin	Journal of Molecular and Cellular Cardiology•2018 Dec	Article
31	Taguchi A., Ohta Y., Tanizawa Y.	病態制御内科学	Molecular clock as a regulator of β -cell function. J Diabetes Investig.	Journal of Diabetes Investigation. •2018 Mar	Article
32	Koga M.	神経内科学	Experimental approach in research of Guillain-Barré syndrome: A range of pathogeneses mediated by molecular mimicry	Clinical and Experimental Neuroimmunology•-	Review
33	Koga M.	神経内科学	Autoantibodies in chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy	Brain and Nerve•-	Article
34	Shimizu F., Kanda T.	神経内科学	Pathomechanism of autoantibody production in the nervous system diseases	Brain and Nerve•2018 Apr	Article
35	Koga M., Kishi M., Fukusako T., et al.	神経内科学	Distal limb weakness phenotype of Guillain-Barré syndrome.	Journal of the Neurological Sciences•2018 Sep 15	Article

小計9件

36	Shimizu F., Nishihara H., Kanda T.	神経内科学	Blood-brain barrier dysfunction in immuno-mediated neurological diseases	Immunological Medicine・2018 Sep	Review
37	Matsunaga K.	呼吸器・感染症内科学	Obesity and severe asthma in Japan: Similarities and differences with Western countries	Respiratory Investigation・2018 Nov	Editorial
38	Hamada K., Oishi K., Uehara S., et al.	呼吸器・感染症内科学	Deep sternal wound tuberculosis with hypo-gamma-globulinemia	Internal Medicine・2018 Sep 1	Article
39	Hirano T., Matsunaga K., Hamada K., et al.	呼吸器・感染症内科学	Combination of assist use of short-acting beta-2 agonists inhalation and guidance based on patient-specific restrictions in daily behavior: Impact on physical activity of Japanese patients with chronic obstructive pulmonary disease	Respiratory Investigation・2019 Mar	Article
40	Hirano T., Matunaga K.	呼吸器・感染症内科学	Late-onset asthma: current perspectives.	Journal of Asthma and Allergy・2019 Feb	Review
41	Yamagata H., Uchida S., Matsuo K., et al.	高次脳機能病態学	Altered plasma protein glycosylation in a mouse model of depression and in patients with major depression	Journal of Affective Disorders・2018 Jun	Article
42	Matsuo K., Harada K., Fujita Y., et al.	高次脳機能病態学	Distinctive Neuroanatomical Substrates for Depression in Bipolar Disorder versus Major Depressive Disorder	Cerebral cortex (New York, N.Y. : 1991)・2019 Jan 1	Article
43	Chen C., Nakagawa S.	高次脳機能病態学	Planetary Health and the Future of Human Capacity: The Increasing Impact of Planetary Distress on the Human Brain	Challenges・2018 Nov	Review
44	Iida Y., Wakiguchi H., Okazaki F., et al.	小児科学	Early canakinumab therapy for the sensorineural deafness in a family with Muckle-Wells syndrome due to a novel mutation of NLRP3 gene	Clinical Rheumatology・2019 Mar	Article

小計9件

45	Wakiguchi H., Abe N., Hasegawa S.	小児科学	Lobonemoides robustus (jellyfish) anaphylaxis without poly- γ -glutamic acid sensitization	European journal of dermatology : EJD•2018 Aug 1	Article
46	Hoshide M., Korematsu S., Miyata R., et al.	小児科学	A survey of the safe usage of intravenous anticonvulsants	No To Hattatsu•-	Article
47	Murakami J., Ueda K., Tanaka T., et al.	器官病態 外科学	Grading of Emphysema Is Indispensable for Predicting Prolonged Air Leak After Lung Lobectomy	Annals of Thoracic Surgery•2018 Apr	Article
48	Ueda K., Murakami J., Tanaka T., et al.	器官病態 外科学	Predicting the response to a bronchodilator in patients with airflow obstruction and lung cancer	Journal of Surgical Research•2018 Aug	Article
49	Suehiro K., Morikage N., Ueda K., et al.	器官病態 外科学	Venous hemodynamics assessed with air plethysmography in legs with lymphedema	Vascular Medicine (United Kingdom)•2018 Apr	Article
50	Suehiro K., Morikage N., Ueda K., et al.	器官病態 外科学	Local Echo-Free Space in a Limb with Lymphedema Represents Extracellular Fluid in the Entire Limb	Lymphatic Research and Biology•2018 Apr	Article
51	Yanagihara M., Tsuneoka H., Tanimoto A., et al.	器官病態 外科学	Bartonella henselae DNA in seronegative patients with cat-scratch disease	Emerging Infectious Diseases•2018 May	Letter
52	Kugimiya N., Harada E., Oka K., et al.	器官病態 外科学	Loss of skeletal muscle mass after curative gastrectomy is a poor prognostic factor	Oncology Letters•2018 Jul	Article
53	Suehiro K., Morikage N., Ueda K., et al.	器官病態 外科学	Aggressive Decongestion in Limbs with Lymphedema without Subcutaneous Echo-Free Space	Annals of Vascular Surgery•2018 Nov	Article

小計9件

54	Ueda K., Murakami J., Tanaka J., et al.	器官病態 外科学	Preoperative risk assessment with computed tomography in patients undergoing lung cancer surgery	Journal of Thoracic Disease• 2018 Jul	Article
55	Suehiro K., Morikage N., Ueda K., et al.	器官病態 外科学	Correlation between Changes in Extremity Volume and Bioelectrical Impedance in Arm and Leg Lymphedema	Lymphatic Research and Biology•2018 Aug	Article
56	Yoshimura K., Morikage N., Nishino-Fujimoto S., et al.	器官病態 外科学	Current status and perspectives on pharmacologic therapy for abdominal aortic aneurysm	Current Drug Targets•2018	Review
57	Tanaka T., Ueda K., Murakami J., et al.	器官病態 外科学	Use of Stitching and Bioabsorbable Mesh and Glue to Combat Prolonged Air Leaks	Annals of Thoracic Surgery• 2018 Oct	Article
58	Suehiro K., Morikage N., Ueda K., et al.	器官病態 外科学	Peculiar clinical features of cellulitis in peripheral lymphedema	Lymphology•2018	Article
59	Morikage N., Mizoguchi T., Takeuchi Y., et al.	器官病態 外科学	Chimney Endovascular Aneurysm Repair Using Endurant Stent-Grafts With Bare Balloon-Expandable Stents for Patients With Juxtarenal Aortic Aneurysms	Journal of Endovascular Therapy•2019 Mar 22	Article
60	Harada E, Suehiro Y, Kugimiya N., et al.	器官病態 外科学	A Novel Technique for Intracorporeal End-to-End Anastomosis in Totally Laparoscopic Colectomy: A Preliminary Single-Center Experience	International Journal of Surgical Procedures•2018 Aug	Article
61	Tanaka T, Ueda K, Murakami J, Hamano., et al.	器官病態 外科学	Use of Stitching and Bioabsorbable Mesh and Glue to Combat Prolonged Air Leaks	The Annals of Thoracic Surgery•2018 Oct	Article
62	Ueda K, Murakami J, Tanaka T., et al.	器官病態 外科学	Unclassifiable Infectious Complications after Lobectomy for Cancer:Etiology, Risks, and Outcomes	The Thoracic and Cardiovascular Surgeon• 2018 Aug	Article

小計9件

63	Ueda K, Murakami J, Tanaka T., et al.	器官病態 外科学	Predicting the response to a bronchodilator in patients with airflow obstruction and lung cancer	Journal of Surgical Research • 2018 Aug	Case report
64	Morikage N, Hamano K	器官病態 外科学	Recent advances and Mid-to-long term results of endovascular aneurysm repair for abdominal aortic aneurysms	Annals of Vascular Diseases • 2019 Feb	Review
65	Suehiro K, Morikage N, Harada T, Samura M., et al.	器官病態 外科学	Compression Therapy Using Bandages Successfully Manages Acute or Subacute Lipodermatosclerosis	Annals of Vascular Diseases • 2019 Mar	Case report
66	Kanekiyo S., Takeda S., Tsutsui M., ., et al.	消化器・腫 瘍外科学	Low invasiveness of thoracoscopic esophagectomy in the prone position for esophageal cancer: a propensity score-matched comparison of operative approaches between thoracoscopic and open esophagectomy	Surgical Endoscopy • 2018 Apr	Article
67	Tokumitsu Y., Sakamoto K., Tokuhisa ., et al.	消化器・腫 瘍外科学	A new prognostic model for hepatocellular carcinoma recurrence after curative hepatectomy	Oncology Letters • 2018 Apr	Article
68	Nishiyama M., Tsunedomi R., Yoshimura K., et al.	消化器・腫 瘍外科学	Metastatic ability and the epithelial-mesenchymal transition in induced cancer stem-like hepatoma cells	Cancer Science • 2018 Apr	Article
69	Nagano H., Obi S., Hatano E, et al.	消化器・腫 瘍外科学	Multicenter, randomized, controlled trial of S-1 monotherapy versus S-1 and interferon- α combination therapy for hepatocellular carcinoma with extrahepatic metastases	Hepatology Research • 2018 Aug	Article
70	Kanekiyo S., Hazama S., Takenouchi H., et al.	消化器・腫 瘍外科学	IgG response to MHC class I epitope peptides is a quantitative predictive biomarker in the early course of treatment of colorectal cancer using therapeutic peptides	Oncology Reports • 2018 May	Article
71	Iida M., Hazama S., Tsunedomi R., et al.	消化器・腫 瘍外科学	Overexpression of miR-221 and miR-222 in the cancer stroma is associated with malignant potential in colorectal cancer	Oncology Reports • 2018 Sep	Article

小計9件

72	Matsukuma S., Sakamoto K., Tokuhisa Y., et al.	消化器・腫瘍外科学	Outcomes following liver resection for multinodular barcelona clinic liver cancer-B hepatocellular carcinoma	Oncology Letters・2018 Nov	Article
73	Matsui H., Hazama S., Shindo Y., et al.	消化器・腫瘍外科学	Combination treatment of advanced pancreatic cancer using novel vaccine and traditional therapies	Expert Review of Anticancer Therapy・2018 Dec	Review
74	Kanekiyo S., Takeda S., Iida M., et al.	消化器・腫瘍外科学	Efficacy of perioperative immunonutrition in esophageal cancer patients undergoing esophagectomy	Nutrition・2019 Mar	Article
75	Kuwahara T., Tokumitsu Y., Nakajima M., et al.	消化器・腫瘍外科学	Two Cases of Rupture of Elevated Jejunal Varices after Operation for Hilar Cholangiocarcinoma	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy・2019 Feb	Article
76	Fujiwara Y., Matsui H., Tokumitsu Y., et al.	消化器・腫瘍外科学	A Case of Distal Pancreatectomy with En Bloc Celiac Axis Resection after Distal Gastrectomy	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy・2019 Mar	Article
77	Hazama S, Tamada K, Yamaguchi Y., et al.	消化器・腫瘍外科学	Current status of immunotherapy against gastrointestinal cancers and its biomarkers : Perspective for precision immunotherapy	Ann Gastroenterol Surg.・2018 Jun	Review
78	Nakashima D., Kanchiku T., Nishida N., et al.	整形外科科学	Finite element analysis of compression fractures at the thoracolumbar junction using models constructed from medical images	Experimental and Therapeutic Medicine・2018 Apr	Article
79	Imagama T., Tokushige A., Seki K., et al.	整形外科科学	Risk factors associated with short-term clinical results after total hip arthroplasty for patients with rheumatoid arthritis	Orthopedics・2018 Nov 1	Article
80	Imagama T., Tokushige A., Seki K., et al.	整形外科科学	Early diagnosis of septic arthritis using synovial fluid presepsin: A preliminary study	Journal of Infection and Chemotherapy・2019 Mar	Article

小計9件

81	Imajo Y., Kanchiku T., Suzuki H., et al.	整形外科科学	Factors associated with an excellent outcome after conservative treatment for patients with proximal cervical spondylotic amyotrophy using electrophysiological, neurological and radiological findings	Journal of Spinal Cord Medicine•2019 Mar 19	Article
82	Yasuno S., Yamaguchi M., Tanaka A., et al.	皮膚科学	Case of generalized pustular psoriasis that might have progressed from terbinafine-induced acute generalized exanthematous pustulosis	Journal of Dermatology•2018 Dec	Letter
83	Asano N., Okita T., Yasuno S., et al.	皮膚科学	Identification of a novel splice site mutation in the LIPH gene in a Japanese family with autosomal recessive woolly hair	Journal of Dermatology•2019 Jan	Letter
84	Yasuno S., Miyoshi Y., Asano N., et al.	皮膚科学	Sporadic case of Darier disease caused by a novel splice-site mutation in the ATP2A2 gene	Clinical and Experimental Dermatology•2019 Mar	Letter
85	Matsuyama H., Shimabukuro T., Hara I., et al.	泌尿器科学	Prediction of optimal number of cycles in docetaxel regimen for patients with mCRPC	Hormone Therapy and Castration Resistance of Prostate Cancer•-	Book Chapter
86	Shiraishi K., Matsuyama H.	泌尿器科学	Effects of medical comorbidity on male infertility and comorbidity treatment on spermatogenesis	Fertility and Sterility•2018 Nov	Article
87	Shiraishi K., Kitahara S., Ito H., et al.	泌尿器科学	Transperitoneal versus retroperitoneal laparoscopic adrenalectomy for large pheochromocytoma: Comparative outcomes	International Journal of Urology•2019 Feb	Article
88	Shiraishi K., Matsuyama H.	泌尿器科学	Klinefelter syndrome: From pediatrics to geriatrics	Reproductive Medicine and Biology•2018 Dec 8	Review
89	Tokuda K., Baron B., Kuramitsu Y., et al.	眼科学	Optimization of fixative solution for retinal morphology: a comparison with Davidson's fixative and other fixation solutions	Japanese Journal of Ophthalmology•2018 Jul	Article

小計9件

90	Yanai R., Chen S., Uchi S.-H., et al.	眼科学	Attenuation of choroidal neovascularization by dietary intake of ω -3 long-chain polyunsaturated fatty acids and lutein in mice	PLoS ONE•2018 Apr 25	Article
91	Ohta M., Morita Y., Yamada N., et al.	眼科学	Remodeling of the Corneal Epithelial Scaffold for Treatment of Persistent Epithelial Defects in Diabetic Keratopathy	Case Reports in Ophthalmology•2018 Jun	Article
92	Ohta M., Suzuki K., Teranishi S., et al.	眼科学	Measurement of deepening of the upper eyelid sulcus in glaucoma patients using prostaglandin analogues	Japanese Journal of Clinical Ophthalmology•-	Article
93	Hori T., Sugahara K., Tsuda J., et al.	耳鼻咽喉科学	Oral administration of an herbal medicine to prevent progressive hearing loss in a mouse model of diabetes	Auris Nasus Larynx•2019 Feb 21	Article
94	Takemoto Y., Hirose Y., Sugahara K., et al.	耳鼻咽喉科学	Protective effect of an astaxanthin nanoemulsion against neomycin-induced hair-cell damage in zebrafish	Auris Nasus Larynx•2018 Feb	Article
95	Fujii H., Hashimoto M., Sugahara K., et al.	耳鼻咽喉科学	Quantitative Analysis of Smooth Pursuit Eye Movement Using Video-Oculography	Arch Otolaryngol Rhinol•2018 May	Article
96	Okada M., Nomura T., Nakashima Y., et al.	放射線医学	Histogram-pattern analysis of the lung perfused blood volume for assessment of pulmonary thromboembolism	Diagnostic and Interventional Radiology•2018 May-Jun	Article
97	Ito K., Hayashida M., Kanki A., et al.	放射線医学	Alterations in apparent diffusion coefficient values of the kidney during the cardiac cycle: Evaluation with ECG-triggered diffusion-weighted MR imaging	Magnetic Resonance Imaging•2018 Oct	Article
98	Okada M., Nomura T., Nakashima Y., et al.	放射線医学	Histogram-based comparison between dynamic and static lung perfused blood volume images using dual energy CT	European Journal of Radiology•2018 Nov	Article

小計9件

99	Tamura I., Jozaki K., Sato S., Shirafuta Y., et al.	産科婦人科学	The distal upstream region of insulin-like growth factor-binding protein-1 enhances its expression in endometrial stromal cells during decidualization	Journal of Biological Chemistry • 2018 Apr 6	Article
100	Sugino N.	産科婦人科学	First healthy baby by anonymous oocyte donation in Japan	Reproductive Medicine and Biology • 2018 Jun 6	Editorial
101	Shinagawa M., Tamura I., Maekawa R., et al.	産科婦人科学	C/EBP β regulates Vegf gene expression in granulosa cells undergoing luteinization during ovulation in female rats	Scientific Reports • 2019 Jan 24	Article
102	Maekawa R., Mihara Y., Sato S., et al.	産科婦人科学	Aberrant DNA methylation suppresses expression of estrogen receptor 1 (ESR1) in ovarian endometrioma	Journal of Ovarian Research • 2019 Feb 6	Article
103	Jozaki K., Tamura I., Takagi H., et al.	産科婦人科学	Glucose regulates the histone acetylation of gene promoters in decidualizing stromal cells.	Reproduction • 2019 Feb 1	Article
104	Nishimoto Y, Murakami H, Sato S., et al.	産科婦人科学	Decreased carbonyl reductase 1 expression promotes tumor growth via epithelial mesenchymal transition in uterine cervical squamous cell carcinomas.	Reprod Med Biol • 2018 Jan 25	Article
105	Sadahiro H., Kang K.-D., Gibson J.T., et al.	脳神経外科学	Activation of the receptor tyrosine kinase AXL regulates the immune microenvironment in glioblastoma	Cancer Research • 2018 Jun 1	Article
106	Nomura S., Kida H., Hirayama Y., et al.	脳神経外科学	Reduction of spike generation frequency by cooling in brain slices from rats and from patients with epilepsy	Journal of Cerebral Blood Flow and Metabolism • 2018 Aug 17	Article in Press
107	Sugimoto K., Nomura S., Shirao S., et al.	脳神経外科学	Cilostazol decreases duration of spreading depolarization and spreading ischemia after aneurysmal subarachnoid hemorrhage	Annals of Neurology • 2018 Dec	Article

小計9件

108	Oka F., Chung D.Y., Suzuki M., et al.	脳神経外科学	Delayed Cerebral Ischemia After Subarachnoid Hemorrhage: Experimental-Clinical Disconnect and the Unmet Need	Neurocritical Care•2019 Jan 22	Article in Press
109	Suehiro E., Fujiyama Y., Kiyohira M., et al.	脳神経外科学	Probability of soluble tissue factor release lead to the elevation of D-dimer as a biomarker for traumatic brain injury	Neurologia Medico-Chirurgica•2019 Feb 15	Article
110	Harada K., Ferdous T., Kobayashi H., et al.	歯科口腔外科学	Elemental Diet Accelerates the Recovery From Oral Mucositis and Dermatitis Induced by 5-Fluorouracil Through the Induction of Fibroblast Growth Factor 2	Integrative Cancer Therapies•2018 Jun	Article
111	Harada K., Ferdous T., Mizukami Y., et al.	歯科口腔外科学	Elemental diet inhibits pro-inflammatory cytokine production in keratinocytes through the suppression of NF- κ B activation	Oncology Reports•2018 Jul	Article
112	Harada K., Ferdous T., Minami H., et al.	歯科口腔外科学	Prognostic significance of FOXM1 in oral squamous cell carcinoma patients treated by docetaxel-containing regimens.	Molecular and Clinical Oncology•2019 Jan	Article
113	Harada K., Minami H., Ferdous T., et al.	歯科口腔外科学	The Elental® elemental diet for against chemoradiotherapy-induced oral mucositis: a prospective study in patients with oral squamous cell carcinoma.	Molecular and Clinical Oncology•2019 Jan	Article
114	Koga Y., Fujita M., Yagi T., et al.	救急・総合診療医学	Early enteral nutrition is associated with reduced in-hospital mortality from sepsis in patients with sarcopenia	Journal of Critical Care•2018 Oct	Article
115	Yamamoto T., Fujita M., Oda Y., et al.	救急・総合診療医学	Evaluation of a novel classification of heat-related illnesses: A multicentre observational study (heat stroke STUDY 2012)	International Journal of Environmental Research and Public Health•2018 Sep 8	Article
116	Koga Y., Fujita M., Yagi T., et al.	救急・総合診療医学	Reply to the letter to the editor	Journal of Critical Care•2019 Feb	Letter

小計9件

117	Tsuruta R, Fujita M	救急・総合 診療医学	Comparison of clinical practice guidelines for the management of pain, agitation and delirium in critically ill adult patients	Acute Medicine & Surgery・ 2018 Apr	Article
118	Fujita M, Oda Y, Kaneda K., et al.	救急・総合 診療医学	Variability in Treatment for Carbon Monoxide Poisoning in Japan: A Multicenter Retrospective Survey	Emerg Med Int・2018 Dec	Article

計2件
合計118件

(注) 1. 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2. 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3. 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4. 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5. 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること

(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6. 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	中村教泰	器官解剖学	シリカナノ粒子の高機能セラノステイクス(第27章)	ドラッグデリバリーシステム・バイオ医薬品創生に向けた組織、細胞内、核内送達技術の開発・43278	書籍
2	北川 孝雄, 浅岡 洋一, 古谷-清木 誠	システムズ再生・病態医化学	重力拮抗遺伝子YAPによる三次元臓器形成メカニズム	月刊 細胞・43374	日本語総説
3	劉 金耀, 古田雄三, 姫宮彩子, 他	法医学	アルコールによる酸化ストレス防御作用を持つメタロチオネイン遺伝子の変化と動脈硬化の進行:高脂血症マウスを用いた検討	アルコールと医学生物学・201804	Article
4	藤宮龍也	法医学	アルコールとその代謝産物の法医学薬物動態学と鑑定	法医学の実際と研究・201811	Review
5	劉 金耀, 富田周作, 姫宮彩子, 他	法医学	動脈硬化進行におけるアルコールおよび動脈硬化誘発食の相乗効果が血管内皮前駆細胞とその調節因子にもたらす影響	アルコールと医学生物学・201901	Article
6	姫宮彩子, 山路創一郎, 劉金耀, 他	法医学	非飲酒下における呼気アセトアルデヒド濃度とALDH2遺伝子多型との関連	アルコールと医学生物学・201901	Article
7	Sakaida I., Iwamoto T., Shibasaki Y, 他	消化器内科学	Necessity of continuous tolvaptan administration based on the results of a placebo-control trial: A post-hoc analysis based on the pivotal phase 3 trial	Acta Hepatologica Japonica・2018 Nov	Article
8	田部勝也	病態制御内科学	Wolfram 症候群をモデルとしたストレス病態における膵β細胞可塑性制御の解明	一般社団法人 日本内分泌学会雑誌・201804	Article

小計8件

9	谷澤幸生	病態制御 内科学	糖尿病の病態からみた糖尿病性合併症対策 発言(2)大規模スタディに学ぶ高血圧と糖尿病合併症	糖尿病UP・DATE賢島セミナー2017(34)糖尿病性合併症へのシームレスな対応-血管合併症の早期診断と予防 メディカル・ジャーナル社・201805	Article
10	太田 康晴	病態制御 内科学	時計遺伝子とインスリン分泌障害	糖尿病学 2018(編 門脇孝)・201805	Article
11	太田康晴	病態制御 内科学	特集『時間』を軸に考えた糖尿病治療の新展開 時計遺伝子と糖代謝	月刊糖尿病 DIABETES 医学出版・201807	Article
12	田口昭彦、谷澤幸生	病態制御 内科学	糖尿病と合併症の遺伝子	Nephrology & Urology 腎臓内科学・泌尿器科 科学評論社・201810	Article
13	谷澤幸生、畠中諒子	病態制御 内科学	糖尿病治療の基本Ⅱ 1糖尿病の病型分類と診断基準、コントロール目標(総論)	糖尿病の最新の治療 2019-2021 南光堂・201902	Article
14	秋山優、谷澤幸生	病態制御 内科学	内分泌症候群(第3版)-その他の内分泌疾患を含めて-VIII糖代謝 16 薬物・化学物質による糖尿病	別冊日本臨牀 領域別症候群シリーズ 日本臨牀社・201903	Article
15	佐々木順, 萩原康輔, 松尾幸治, 他	高次脳機能病態学	うつ病・うつ状態と強迫症状	精神科・43252	総説
16	樋口文宏, 中川伸	高次脳機能病態学	高齢者のせん妄	日本医事新報・43405	総説

小計8件

17	中川伸	高次脳機能病態学	うつ病における付加療法	臨床精神医学・43435	総説
18	中川伸	高次脳機能病態学	不安障害における神経認知機能・認知バイアス	精神科・43525	総説
19	森景則保、溝口高弘、竹内百合子、他	器官病態外科学	傍腎動脈型腹部大動脈瘤に対するEndurantを用いたChimney EVARの有用性	日本血管内治療学会誌・201805	原著
20	森景則保、濱野公一	器官病態外科学	腹部大動脈瘤に対するステントグラフトの最近の進歩と中・長期成績	日本血管外科学会雑誌・201810	総説
21	下村 裕	皮膚科学	遺伝性毛髪疾患(前編)	西日本皮膚科・43191	総説
22	下村 裕	皮膚科学	小児の先天性毛髪疾患	日本臨床皮膚科医会雑誌・43205	総説
23	下村 裕	皮膚科学	遺伝性毛髪疾患(後編)	西日本皮膚科・43252	総説
24	下村 裕	皮膚科学	非症候性遺伝性縮毛症の病態	皮膚科の臨床・43344	総説

小計8件

25	下村 裕	皮膚科学	脱毛症	山口県内科医会誌・平成31年1月	総説
26	山口 道也	皮膚科学	皮膚科領域におけるリスクマネジメント ー医療安全管理者の立場からー	MB Derma・平成31年2月	総説
27	橋本 誠, 山下裕司	耳鼻咽喉科学	耳の検査のコツとピットフォール 聴覚検査 語音聴力検査	JOHNS・2018 July	総説
28	菅原一真, 山下裕司	耳鼻咽喉科学	薬剤性難聴	JOHNS・2019 Jan	総説
29	Tamura H and Sugino N	産科婦人科学	Pregnancy complications in women with adenomyosis;	Uterine Fibroids and Adenomyosis・2018 Jun 15	Review
30	Sato S and Sugino N	産科婦人科学	Biomarkers of uterine fibroids;	Uterine Fibroids and Adenomyosis・2018 Jun 15	Review
31	Maekawa R and Sugino N	産科婦人科学	Epigenetics and uterine fibroids;	Uterine Fibroids and Adenomyosis・2018 Jun 15	Review
32	石田和慶, 山下理, 山下敦生, 他	麻酔・蘇生学	周術期の脳血流自己調節能および脳血管CO ₂ 反応性の評価と術後脳障害・脳機能障害	臨床麻酔・2018 May	Review

小計8件

33	奥朋子, 松本美志也	麻酔・蘇生学	虚血性心疾患患者における周術期のニコランジル投与について	臨床麻酔・2018 May	Letter
34	福井健彦, 松本美志也	麻酔・蘇生学	脊髄の虚血耐性	臨床麻酔・2018 Sep	Review
35	末廣栄一、鈴木倫保	脳神経外科学	急性硬膜下血腫、脳挫傷に対する外科治療	脳・脊髄外傷の治療; 外傷診療を再発見しよう・2018.5.24	Review
36	井本浩哉、土師康平、岡崎光希、他	脳神経外科学	脳卒中後の疼痛に対する治療	山口医学・2018	Article
37	末廣栄一、鈴木倫保	脳神経外科学	高齢者頭部外傷治療におけるピットフォール	脳神経外科・2018. 12.10	Review
38	野村貞宏、鈴木倫保	脳神経外科学	二次元レーザー血流計によるバイパス術中の脳血流モニタリング	CI研究・2018	Article
39	鈴木倫保、末廣栄一	脳神経外科学	脳神経外傷学の過去・現在……そして未来 -世界のtrendを見据えて-	脳神経外科ジャーナル・2019.2	Review
40	末廣栄一、鈴木倫保	脳神経外科学	小脳のしくみをはたらき	脳神経ケアに役立つ 図解からだのしくみとはたらき (BRAIN NURSING 2019 春季増刊号)・2019.2.15	Review

小計8件

41	末廣栄一、鈴木倫保	脳神経外科学	高齢者の頭部外傷と抗血栓療法-Think FAST Campaignについて-	老年医学・2019.2.1	Review
42	鈴木倫保	脳神経外科学	脳卒中の外科治療	分子脳血管病・2019.2.1	Review
43	末廣栄一、鈴木倫保	脳神経外科学	頭蓋内損傷 -スポーツ競技への参加について理解しておくべきこと-	臨床スポーツ医学・2019.3.1	Review
44	鈴木倫保	脳神経外科学	抗血栓薬内服中の患者さんへの適切な対応を検索	Aflow・2019	Review
45	三島 克章	歯科口腔外科学	両側性口唇裂初回形成術後の口笛変形に対する治療戦略	日歯先技研会誌・2019	総説
46	猪飼 宏, 樫部 公一, 石田 博	医療情報判断学	両側性口唇裂初回形成術後の口笛変形に対する治療戦略	第38回医療情報学連合大会 論文集 38th JCMJ(Nov.,2018)・2018.11	Proceedings
47	石田 博, 猪飼 宏, 樫部 公一, 他	医療情報判断学	既存の電子情報からの症例登録情報の収集と課題	第38回医療情報学連合大会 論文集 38th JCMJ(Nov.,2018)・2018.11	Proceedings

小計7件
合計47件

(注) 1. 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2. 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	☒ 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	☒ 有・無
・ 手順書の主な内容 目的と適用範囲について、委員会の役割・責務について、委員会の業務について等 「臨床研究に関する倫理指針」に則った各項目を整備し、手順書を定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	☒ 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	☒ 有・無
・ 規定の主な内容 委員会の設置について、審議事項について、組織について等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年22回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年11回
・ 研修の主な内容 人医学系研究の倫理指針・臨床研究法について、申請手続きについて、IRB審査について、人医学系研究に係る利益相反について等	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

山口大学医学部附属病院では各診療科長の統括管理の下に専門研修を行っており、本院を基幹施設とし、山口県内の各医療圏の中核病院を主な連携施設として専門研修施設群を形成し、基本領域専門医からサブスペシャルティ専門医まで取得できるように体系的な専門研修プログラムを策定している。

また、大学病院や地域中核病院での数多くの症例経験を通じ、各診療領域における実践的かつ高度な専門的診療能力（知識及び技能）の育成を図っている。

さらに、本院では専門研修を行いつつ山口大学大学院医学系研究科に進学して学位を取得することが可能となっており、今後の医療の発展を支えるリサーチマインドを有する臨床医の養成も推進している。

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	40人
-------------	-----

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
坂井 功	第一内科	科長	36年	内科
矢野 雅文	第二内科	科長	35年	内科
谷澤 幸生	第三内科	科長	35年	内科
神田 隆	脳神経内科	科長	37年	内科
松永 和人	呼吸器・感染症内科	科長	28年	内科
長谷川 俊史	小児科	科長	28年	小児科
下村 裕	皮膚科	科長	20年	皮膚科
中川 伸	精神科神経科	科長	29年	精神科
濱野 公一	第一外科	科長	33年	外科
永野 浩昭	第二外科	科長	33年	外科
坂井 孝司	整形外科	科長	25年	整形外科
杉野 法広	産科婦人科	科長	34年	産婦人科
木村 和博	眼科	科長	24年	眼科
山下 裕司	耳鼻咽喉科	科長	34年	耳鼻咽喉科
松山 豪泰	泌尿器科	科長	37年	泌尿器科
鈴木 倫保	脳神経外科	科長	39年	脳神経外科
伊東 克能	放射線科	科長	31年	放射線科
田中 秀和	放射線治療科	科長	13年	放射線科
松本 美志也	麻酔科蘇生科	科長	34年	麻酔科
池田 栄二	病理形態学	教授	33年	病理
山崎 隆弘	検査部	部長	32年	臨床検査
鶴田 良介	先進救急医療センター	センター長	28年	救急科
野垣 宏	地域・老年看護学	教授	37年	リハビリテーション科
黒川 典枝	総合診療部	部長	34年	総合診療
三島 克章	歯科口腔外科	科長	29年	歯科口腔外科

（注）1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

【検査部】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
難治性皮膚潰瘍に対する自己細胞混合シートの調整	2018 年 7 月 11 日	34
臨床免疫項目における患者個別データ管理	2018 年 7 月 25 日	30
細胞加工施設における捕虫調査	2018 年 10 月 3 日	34
小児における閉塞性睡眠時無呼吸	2018 年 10 月 10 日	30

【放射線部】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
放射線治療専門技師機構講習	年 1 回 1 日間	4
放射線治療品質管理機構地域支援研修	年 3 回 全合計 5 日間	1

【看護部／対象：新人担当】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
新採用者研修・オリエンテーション	2018 年 4 月 2 日・3 日・4 日・5 日	69
電子カルテシステム	2018 年 4 月 10 日・11 日	68
医療安全に関する研修Ⅰ リスクマネジメントマニュアルを知ろう	2018 年 4 月 11 日	65
内服薬・貼付剤・外用薬の知識	2018 年 4 月 11 日	64
防火訓練	2018 年 4 月 9 日	66
静脈注射 知識編Ⅰ「静脈注射の基礎知識」	2018 年 4 月 20 日	68
看護記録Ⅰ ～看護記録の基礎～	2018 年 5 月 7 日	64
褥瘡予防ケア	2018 年 5 月 7 日	65
静脈注射 知識編Ⅱ①「インスリンの知識と管理」	2018 年 6 月 1 日	69
2か月目のふりかえり	2018 年 6 月 1 日	68
急変対応を学ぶ	2018 年 7 月 18 日	63
静脈注射 知識編Ⅲ「抗がん剤の知識と管理」	2018 年 7 月 18 日	67
看護必要度研修(新人編)	2018 年 8 月 29 日	63
6か月目のふりかえり	2018 年 9 月 7 日	62
静脈注射 知識編Ⅱ②「麻薬・劇薬・毒薬の知識と管理」 「ハイリスク注射薬の知識と管理」	2018 年 10 月 10 日	68
静脈注射 知識編Ⅳ「輸血の知識と管理」	2018 年 10 月 31 日	67
医材センター研修	2018 年 10 月～11 月	66
看取りの看護 ～逝去時の看護手順～	2018 年 11 月 14 日	64
酸素吸入療法と人工呼吸器の基礎知識	2018 年 12 月 17 日	64
1年目のふりかえり	2019 年 3 月 8 日	60

技術演習① 感染対策・清潔操作	2018 年 4 月 7 日	62
技術演習② 体位変換・移送・移乗		62
新人サポート研修 コミュニケーションⅠ		62
静脈注射 技術編Ⅰ 技術演習③ 輸液管理	2018 年 4 月 21 日	63
技術演習④ 輸液ポンプ・シリンジポンプの準備と管理		63
新人サポート研修 コミュニケーションⅡ		62
技術演習⑤ 静脈血採血	2018 年 5 月 19 日	63
技術演習⑥ 導尿・膀胱留置カテーテルの挿入と管理・浣腸		63
新人サポート研修 メンタルヘルス		62
技術演習⑦ 皮下注射・筋肉内注射	2018 年 6 月 2 日	63
技術演習⑧ 吸引・吸入		63
新人サポート研修 社会人基礎力		62
技術演習⑨ 経管栄養管理	2018 年 6 月 16 日	64
技術演習⑩ 多重課題シミュレーションⅠ		63
医療安全に関する研修Ⅱ リスク感性を高めよう:KYT		63
技術演習⑪ フィジカルアセスメントⅠ	2018 年 7 月 5 日	63
静脈注射 技術編Ⅱ 技術演習⑫ 静脈留置針の挿入	2018 年 8 月 8 日	64
技術演習⑬ 心電図モニター・12誘導	2018 年 10 月 17 日	65
技術演習⑭ 多重課題シミュレーションⅡ	2019 年 1 月 30 日	63
フォローアップデー	2018 年 8 月 28 日・29 日	63

【看護部／対象・ラダーⅡを目指す人】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
2年目研修①	①2018 年 7 月 11 日	28
フィジカルアセスメントⅡ ～変化を予測した情報収集のための イグザミネーション～	②2018 年 7 月 24 日	30
2年目研修②	2018 年 11 月 27 日	57
看護記録Ⅱ ～看護過程と看護記録～		
2年目研修③	①2019 年 1 月 29 日	28
メンバーシップ	②2019 年 2 月 4 日	28
3年目研修①	①2018 年 5 月 24 日	30
リフレクション ～看護実践を内省する～	②2018 年 6 月 4 日	29
	③2018 年 6 月 29 日	30
3年目研修②	①2018 年 7 月 31 日	30
フィジカルアセスメントⅢ ～状態に気づくためのアセスメント～	②2018 年 8 月 22 日	31
	③2018 年 9 月 19 日	28
3年目研修③	①2019 年 2 月 1 日	30
組織の中での役割を考える ～チーム活動を促進する～	②2019 年 2 月 22 日	30
	③2019 年 3 月 11 日	26
チーム医療と組織での看護師の役割	2018 年 11 月 21 日	27
看護記録Ⅲ ～看護実践のまとめ方～	2019 年 2 月 26 日	27
プリセプター研修②	2018 年 6 月 18 日	44
プリセプター研修③	2019 年 1 月 16 日	44
プリセプター研修①	2019 年 3 月 4 日	30
楽しくできる看護研究③	2018 年 9 月 14 日	20

楽しくできる看護研究①	2018 年 10 月 12 日	21
楽しくできる看護研究②	2019 年 2 月 13 日	18
クリティカルケア院内研修	2019 年 1 月 8 日～2 月 15 日 (火)～(金)連続 4 日間	24

【看護部／対象・ラダーⅢを目指す人】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
ケアにおけるリーダーシップ	2018 年 9 月 3 日	25
看護研究を支援するために① ～テーマの絞り方～	2018 年 8 月 28 日	25
看護研究を支援するために② ～クリティーク～	2018 年 9 月 25 日	25
看護研究を支援するために③ ～事例研究について～	2018 年 10 月 22 日	31
看護研究を支援するために④ ～データ処理と分析方法～	2018 年 11 月 13 日	21
課題レポートの書き方	2018 年 7 月 4 日	30
看護に活かすナラティブ	2018 年 11 月 5 日	22
臨床指導のスキル	2019 年 2 月 12 日	28

【看護部／対象・ラダーⅣをめざす人】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
人を育てるとは	2018 年 9 月 12 日	29
看護倫理①(全 4 回)	①2018 年 9 月 18 日	22
	②2018 年 10 月 29 日	22
	③2019 年 1 月 25 日	21
	④2019 年 2 月 25 日	21
ファシリテーション	2018 年 7 月 27 日	21
院内看護管理入門研修(全 10 回)	①2018 年 4 月 25 日	9
	②2018 年 5 月 23 日	9
	③2018 年 6 月 27 日	9
	④2018 年 7 月 25 日	54
	⑤2018 年 8 月 22 日	9
	⑥2018 年 9 月 26 日	26
	⑦2018 年 10 月 17 日	9
	⑧2018 年 11 月 28 日	9
	⑨2018 年 12 月 19 日	9
	⑩2019 年 1 月 23 日	9

【看護部／対象・全看護師】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
2018 看護部の取り組み	2018 年 4 月 9 日	186
	2018 年 4 月 10 日	95
	2018 年 4 月 13 日	161
	2018 年 4 月 16 日	96
報告会①	2018 年 9 月 28 日	128
報告会②	2019 年 2 月 8 日	105
第 94 回 院内看護研究発表会	2018 年 12 月 1 日	190
院内 ICLS 研修	2018 年 5 月 2 日	9
	2018 年 6 月 14 日	9
	2018 年 7 月 4 日	9
	2018 年 8 月 1 日	8
	2018 年 9 月 13 日	9
	2018 年 10 月 3 日	9
	2018 年 11 月 7 日	9
	2018 年 12 月 13 日	9
	2019 年 1 月 9 日	9
	2019 年 2 月 6 日	8
	2019 年 3 月 14 日	8
災害医療	2018 年 6 月 20 日	173
これからの退院支援(基礎知識)	2018 年 11 月 7 日	82

【看護部／対象・管理者】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
看護管理研修(看護師長) 労務管理	2018 年 5 月 30 日	26
看護管理研修(看護師長)	2018 年 10 月 13 日	32
看護管理研修(副看護師長) 副看護師長パワーアップトレーニング	①2018 年 5 月 12 日	49
	②2018 年 10 月 14 日	46
	③2018 年 12 月 22 日	51
管理者報告会	2019 年 2 月 28 日	80
昇任管理者研修・オリエンテーション	2019 年 3 月 18 日	10

【看護部／その他】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
看護必要度研修①②③ (看護必要度ワーキングの運用)	①2018 年 5 月 21 日	234
	②2018 年 8 月 27 日	68
	③2018 年 11 月 26 日	118
褥瘡予防と褥瘡発生後のケア	①2018 年 5 月 11 日	208
	②2018 年 7 月 30 日	186
	③2018 年 11 月 16 日	166
静脈注射にまつわるインシデント CV ポートの知識と管理	2018 年 5 月 28 日	51

【看護部／対象：看護補助者】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
医療制度の概要及び病院の機能と組織の理解 看護補助者の役割	2018 年 4 月 17 日	38
医療安全	2018 年 5 月 9 日	37
スタッフ間のコミュニケーション強化研修	2018 年 5 月 29 日	20
	2018 年 6 月 5 日	18
感染防止対策① ～PPEと環境整備について学ぶ～	2018 年 7 月 6 日	39
技術演習 (全員:臥床患者のベッドメイキング、新任者と3年未満の希望者 :移送・移乗)	2018 年 8 月 3 日	40
感染防止対策②	2018 年 11 月 19 日	37
一次救命処置	2018 年 12 月 7 日	38
ふりかえり	2019 年 3 月 7 日	39

② 業務の管理に関する研修の実施状況 (任意)

【放射線部】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
密封小線源治療安全取扱講習	年1回 1日間	1
特定放射性同位元素防護管理者等育成プログラム	年1回 2日間	2
原子力災害時の医療に関わる研修講師養成講座	年3回 合計6日間	1
放射線安全管理講習会	年1回 1日間	1
医療放射線安全管理講習会	年11回 1日間	1

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別		1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名		病院長 杉野 法広	
管理担当者氏名		総務課長 浦田 明宏 医事課長 石田 恭子	

		保 管 場 所		管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	医学部総務課	紙媒体のカルテは入院、外来別に1患者1ファイル方式として、保存整理している。 2009年9月より順次電子カルテシステムに移行し、移行後は電子媒体で保管している。 診療録の病院外持ち出しは、原則禁止としている。
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	診療録センター 医療情報部	
		看護記録	診療録センター 医療情報部	
		検査所見記録	診療録センター 医療情報部	
		エックス線写真	各診療科 放射線部	
		紹介状	診療録センター 医療情報部	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療録センター 医療情報部	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	医学部総務課	左記保管場所において、紙媒体・電子データ等で保管管理している。
		高度の医療の提供の実績	医学部医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部総務課 医学部経営企画課	
		高度の医療の研修の実績	医学部総務課	
		閲覧実績	医学部総務課 医学部医事課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医学部医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医学部医事課	
		規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医療の質・安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医療の質・安全管理部	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療の質・安全管理部			

		保 管 場 所		管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	左記保管場所において、紙媒体・電子データ等で保管管理している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医学部総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医学部総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器管理センター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理センター	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器管理センター	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医学部総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医学部総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医学部総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医学部総務課
		医療安全管理部門の設置状況	医学部総務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医学部医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医学部医事課
		監査委員会の設置状況	医学部総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医学部医事課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医学部医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医学部医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務企画部総務課
		職員研修の実施状況	医学部総務課 医学部医事課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医学部総務課
		管理者が有する権限に関する状況	医学部総務課
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	医学部総務課
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	医学部総務課

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 杉野 法広	
閲覧担当者氏名	総務課長 浦田 明宏 医事課長 石田 恭子	
閲覧の求めに応じる場所	医学部本館 2 階 事務室 外来診療棟 1 階 患者相談室	
閲覧の手続の概要		
・ 閲覧申込 閲覧申込書を総務課総務係に提出する ・ 提出先 病院長 ・ 閲覧方法 指定した日時・場所で行う ・ 返納方法 当日返納とし、総務課総務係に返納する		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： ・ 本院における医療事故防止のための安全管理の取り組みについて ・ 本院における安全管理体制の確保及び推進のため、病院長を委員長とした「医療の質・安全管理委員会」を設置するとともに、医療の質・安全管理委員会の任務を推進し、組織横断的に安全管理を担う「医療の質・安全管理部」を設置することについて ・ 医薬品及び医療機器の安全使用のための責任者として「医薬品安全管理責任者」及び「医療機器安全管理責任者」を置くとともに、医療の質・安全管理委員会、医療の質・安全管理部、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括する「医療安全管理責任者」を置き、病院全体で医療安全に取り組むことについて ・ 全職員を対象として、医療安全に関する研修会を年2回以上開催することについて ・ 院内全死亡事例の報告並びに医療の質・安全管理部及び医療の質・安全管理委員会において全事例の検討を行うことについて ・ 院内で発生したインシデントの報告を受けて、医療の質・安全管理部及び医療の質・安全管理委員会において、内容の調査・分析及び再発防止策の検討を行い、インシデントの概要並びに再発防止策については、リスクマネージャー連絡会議等を通じて院内に啓発を行うことについて ・ 医療事故等発生時の対応に関することについて ・ 患者等が当該指針を閲覧できることについて ・ 患者相談窓口を常設し、患者等からの苦情や相談に応じるための組織や体制等を整備していることについて ・ マニュアルの作成や見直し、診療録等の記録の指導について ・ 高難度新規医療技術を用いた医療の提供について	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・ 設置の有無（有・無） ・ 開催状況：年12回（毎月1回） ・ 活動の主な内容： 1. 毎月1回定期的に、緊急時はその都度開催し下記について審議する。 (1) 医療の質管理及び改善に関すること。 (2) 医療事故防止に関すること。 (3) 医療訴訟の対策に関すること。 (4) 院内死亡事例に関すること。 2. 医療の質・安全管理部（医療安全管理部門）と連携し、医療の質・安全管理部の企画・立案する病院全体の医療の安全管理について、具体的な実践を指導監督する。	

3. 本院のリスクマネジメントマニュアル等の作成や見直し及び診療録等の記入について、関係者に周知して医療事故防止に努め、安全管理を図る。

4. 医療事故防止のための安全管理に関する教育・研修会等を開催する。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 2 回

・ 研修の内容（すべて）：

全職員対象：

年度	研修名（研修テーマ）等
30年度	「特定機能病院承認要件に係る当院の現況」学内講師 「更なる良質な医療を目指して」学内講師 「医薬品を適正に使用するために」学内講師 「インシデント事例の改善策実施状況」学内講師 「更なる良質な医療のために ～RRS 導入と今後の利用について～」学内講師 「職員みんなでつくる医療安全」学内講師

新規（中途）採用医師：

年度	研修名（研修テーマ）等
30年度	「当院の医療安全体制とその実際」医師 G R M 「医薬品に関わるルール」薬剤師 G R M

研修医：

年度	研修名（研修テーマ）等
30年度	「病院でのリスクマネジメント」看護師 G R M 「みんなで創る医療安全」医師 G R M

看護師等：

年度	研修名（研修テーマ）等
30年度	全新採用者： 「新採用者オリエンテーション：病院でのリスクマネジメント」 看護師 G R M 新人看護師： 「リスクマネジメントマニュアルを知る」看護師 G R M 「服薬管理の看護基準」看護師専任 R M 「内服薬・貼付薬・外用薬の知識」薬剤部 G R M 「静脈注射に用いる薬剤の基礎知識」薬剤部 G R M 「静脈注射に必要な解剖生理と合併症」医師 G R M 「安全対策と事故防止」看護師 G R M 「KYT（危険予知トレーニング）」看護師 G R M 「麻薬・劇薬・毒薬の知識と管理」院内薬剤師講師

	「ハイリスク薬の知識と管理」薬剤師 R M 「抗がん剤の知識と管理」 院内看護師講師（がん化学療法看護認定看護師） 「輸血の知識と管理」 専任 R M（臨床輸血認定看護師） 看護助手・クラーク： 「医療安全」 看護師 G R M 全看護師： 「ベッドサイドモニター」 外部講師 「C Vポートの知識と管理～注射にまつわるインシデントから学ぼう～」 医師 G R M	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況		
・ 医療機関内における事故報告等の整備 （ ☒ ・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： （インシデント・アクシデント報告の分析・検討） ・ 報告されてくる内容別に「薬剤」、「ドレーン・チューブ」など9の項目に分け、その項目をさらに種類別に分け集計を行っている。また、別に職種別の報告件数や患者への影響レベル毎の件数を集計している。 ・ 報告の種類別に内容を分析し、報告や検討等を要する事項については、個別に事例分析を行い発生した要因や原因、また再発防止策を提示して医療の質・安全管理委員会、医療の質・安全管理部会議において審議され決定している。リスクマネジャー連絡会議においては決定事項を各部署のリスクマネジャーへ周知するが、再発防止策などの意見を求める場合は、リスクマネジャーを中心に意見を募り医療の質・安全管理部にて検討している。 （院内死亡事例報告の検証） ・ 医療の質・安全管理部で死亡退院全事例についてスクリーニングを行う。（死亡退院事例については、原則7日以内に退院サマリを医療の質・安全管理部に提出。全死亡事例について、報告もれがないよう退院データを用いて照合している。）情報収集した各種データを基に、医療の質・安全管理部会議及び医療の質・安全管理委員会で検証を行い、必要な情報を院内にフィードバックしている。		

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： (1) 感染対策に関する基本的考え方 (2) 院内感染対策のための組織に関する基本的事項 (3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 (4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 (5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 (6) 患者等に対する該当指針の閲覧に関する基本方針 (7) 本病院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 (8) 感染対策の地域連携に関する基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
・ 活動の主な内容： (1) 感染予防に関すること (2) 感染予防策実施の指導に関すること (3) 感染予防の教育に関すること (4) 職員の職業感染対策に関すること (5) 院内感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること (6) 感染制御部の管理及び運営に関すること (7) その他感染対策に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2回
・ 研修の内容（すべて）： (1) 医療関連感染防止のための基本的知識の習得 (2) 処置別感染防止のための基本的知識の習得と最新の情報を知る (3) 抗菌薬の適正使用に関連したこと (4) 職業感染対策について 平成30年度については、以下の内容で全職員を対象として研修を実施した。 ①研修会 日時：平成30年4月20日（金）17時30分～18時30分 テーマ：「当院における感染対策について」 講師：感染制御部 枝國信貴・谷岡みゆき ビデオ講習：4月27日（金）17時30分～18時30分 5月7日（月）17時30分～18時30分 5月10日（木）10時00分～11時00分 11時15分～12時15分 14時00分～15時00分 16時00分～17時00分 ②研修会 日時：平成30年11月21日（水）17時30分～18時30分 テーマ：「インフルエンザと医療従事者に必要なワクチン」 講師：院外講師 広島大学病院感染症科 診療講師 梶原俊毅 先生 ビデオ講習：11月27日（火）17時30分～18時30分 12月3日（月）10時00分～11時00分 14時00分～15時00分 16時00分～17時00分 12月5日（水）10時00分～11時00分 14時00分～15時00分 16時00分～17時00分	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (☒ 有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :
 - ・ 収集した各データや問題点を院内感染対策専門部会で検討している。
 - ・ 対策を検討し必要な項目は、感染対策委員会へ提案し、協議している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無																																																																						
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 13 回																																																																						
・ 研修の主な内容： <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修日</th> <th>対象者</th> <th>研修内容</th> <th>講師</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30.04.03</td> <td>医療職員新採用者、研修医</td> <td>薬剤部の機構と運営「薬剤部の利用について」「医薬品情報-閲覧手順について」「処方箋の取り扱いについて」「麻薬の取り扱いについて」「抗がん剤の取り扱いについて」</td> <td>副薬剤部長 薬剤主査</td> <td>109名</td> </tr> <tr> <td>30.04.11</td> <td>新採用看護師</td> <td>医薬品の基礎知識～内服薬・外用薬～</td> <td>薬剤師 GRM</td> <td>61名</td> </tr> <tr> <td>30.04.20</td> <td>新採用看護師</td> <td>静脈注射に用いる薬剤の基礎知識</td> <td>薬剤師 GRM</td> <td>69名</td> </tr> <tr> <td>30.06.04</td> <td>新規採用医師</td> <td>医薬品に関するルール</td> <td>薬剤師 GRM</td> <td>23名</td> </tr> <tr> <td>30.06.06</td> <td>全職員</td> <td>医薬品を適正に使用するために</td> <td>薬剤師 GRM</td> <td>1563名</td> </tr> <tr> <td>30.06.21</td> <td>新規採用医師</td> <td>医薬品に関するルール</td> <td>薬剤師 GRM</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>30.09.27</td> <td>1-8 西病棟看護師</td> <td>眼科における薬剤師の点眼指導</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>30.10.10</td> <td>新人看護師新採用者（全看護師受講可能）</td> <td>看護部継続教育「ハイリスク注射薬の知識と管理」、「麻薬・劇薬・毒薬の知識と管理」</td> <td>薬剤主査</td> <td>68名</td> </tr> <tr> <td>30.12.25</td> <td>1-8E 病棟看護師</td> <td>薬剤師の病棟業務、看護師からの質問票の回答</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>31.02.07</td> <td>2-4 病棟看護師</td> <td>一般病棟の転倒・転落、せん妄対策を考慮した不眠時指示の標準化に向けた取り組み</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>31.02.19</td> <td>全職員</td> <td>「薬剤の紛失事例について」「麻薬・覚せい剤原料の取り扱いについて」</td> <td>薬剤部長、 薬剤師 GRM</td> <td>274名</td> </tr> <tr> <td>31.02.27</td> <td>全職員</td> <td>キャンサーボード「抗がん剤の曝露対策」、「外来化学療法室における抗がん剤混注手順」</td> <td>薬剤主査 製剤担当薬剤師</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>31.03.15</td> <td>全職員</td> <td>麻薬・覚せい剤事故再発防止のための対応策について</td> <td>薬剤主査</td> <td>214名</td> </tr> </tbody> </table>		研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数	30.04.03	医療職員新採用者、研修医	薬剤部の機構と運営「薬剤部の利用について」「医薬品情報-閲覧手順について」「処方箋の取り扱いについて」「麻薬の取り扱いについて」「抗がん剤の取り扱いについて」	副薬剤部長 薬剤主査	109名	30.04.11	新採用看護師	医薬品の基礎知識～内服薬・外用薬～	薬剤師 GRM	61名	30.04.20	新採用看護師	静脈注射に用いる薬剤の基礎知識	薬剤師 GRM	69名	30.06.04	新規採用医師	医薬品に関するルール	薬剤師 GRM	23名	30.06.06	全職員	医薬品を適正に使用するために	薬剤師 GRM	1563名	30.06.21	新規採用医師	医薬品に関するルール	薬剤師 GRM	13名	30.09.27	1-8 西病棟看護師	眼科における薬剤師の点眼指導	病棟担当薬剤師	15名	30.10.10	新人看護師新採用者（全看護師受講可能）	看護部継続教育「ハイリスク注射薬の知識と管理」、「麻薬・劇薬・毒薬の知識と管理」	薬剤主査	68名	30.12.25	1-8E 病棟看護師	薬剤師の病棟業務、看護師からの質問票の回答	病棟担当薬剤師	14名	31.02.07	2-4 病棟看護師	一般病棟の転倒・転落、せん妄対策を考慮した不眠時指示の標準化に向けた取り組み	病棟担当薬剤師	15名	31.02.19	全職員	「薬剤の紛失事例について」「麻薬・覚せい剤原料の取り扱いについて」	薬剤部長、 薬剤師 GRM	274名	31.02.27	全職員	キャンサーボード「抗がん剤の曝露対策」、「外来化学療法室における抗がん剤混注手順」	薬剤主査 製剤担当薬剤師	21名	31.03.15	全職員	麻薬・覚せい剤事故再発防止のための対応策について	薬剤主査	214名
研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数																																																																			
30.04.03	医療職員新採用者、研修医	薬剤部の機構と運営「薬剤部の利用について」「医薬品情報-閲覧手順について」「処方箋の取り扱いについて」「麻薬の取り扱いについて」「抗がん剤の取り扱いについて」	副薬剤部長 薬剤主査	109名																																																																			
30.04.11	新採用看護師	医薬品の基礎知識～内服薬・外用薬～	薬剤師 GRM	61名																																																																			
30.04.20	新採用看護師	静脈注射に用いる薬剤の基礎知識	薬剤師 GRM	69名																																																																			
30.06.04	新規採用医師	医薬品に関するルール	薬剤師 GRM	23名																																																																			
30.06.06	全職員	医薬品を適正に使用するために	薬剤師 GRM	1563名																																																																			
30.06.21	新規採用医師	医薬品に関するルール	薬剤師 GRM	13名																																																																			
30.09.27	1-8 西病棟看護師	眼科における薬剤師の点眼指導	病棟担当薬剤師	15名																																																																			
30.10.10	新人看護師新採用者（全看護師受講可能）	看護部継続教育「ハイリスク注射薬の知識と管理」、「麻薬・劇薬・毒薬の知識と管理」	薬剤主査	68名																																																																			
30.12.25	1-8E 病棟看護師	薬剤師の病棟業務、看護師からの質問票の回答	病棟担当薬剤師	14名																																																																			
31.02.07	2-4 病棟看護師	一般病棟の転倒・転落、せん妄対策を考慮した不眠時指示の標準化に向けた取り組み	病棟担当薬剤師	15名																																																																			
31.02.19	全職員	「薬剤の紛失事例について」「麻薬・覚せい剤原料の取り扱いについて」	薬剤部長、 薬剤師 GRM	274名																																																																			
31.02.27	全職員	キャンサーボード「抗がん剤の曝露対策」、「外来化学療法室における抗がん剤混注手順」	薬剤主査 製剤担当薬剤師	21名																																																																			
31.03.15	全職員	麻薬・覚せい剤事故再発防止のための対応策について	薬剤主査	214名																																																																			
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 ・ 手順書の作成 （有・無） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： 1) 医薬品の採用・購入に関する事項 2) 医薬品の管理に関する事項 3) 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 4) 患者に対する服薬指導に関する事項 5) 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い																																																																							

- 6) 病棟、中央診療部門、外来における医薬品の管理
- 7) 他施設（病院、薬局等）との連携に関する事項
- 8) 輸血・輸血用血液製剤の取扱い
- 9) 薬剤投与のための機器使用
- 10) 放射線医薬品の管理
- 11) 臨床検査薬の管理
- 12) 造影剤の管理、使用
- 13) 院内製剤の取扱い
- 14) 未承認新規医薬品の使用及び医薬品医療機器等の適応外使用について
- 15) 当該手順書の遵守状況の確認

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （ 有・無 ）
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：
 - ① プリリアントブルー G：眼科手術において染色物質である本剤を水晶体前嚢増殖組織あるいは網膜内境界膜の可視化目的で、白内障および硝子体の手術中に使用し、手術成績向上を行う。
 - ② メラトニン錠：卵子の質が不良のために体外受精胚移植が不成功となった患者に対して、本剤を投与することで卵子の質の改善をはかる。卵子の質を改善させる有効な治療法が確立していない現状において、メラトニン投与が妊娠率を飛躍的に向上させる新たな不妊治療法として期待できる。
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - (1) 医薬品を適正に使用するため、医薬品の安全性情報と患者情報の収集を行う。
 - (2) 経過観察が必要な薬剤の投与にあたっては、投与中・投与後の経過観察を継続して行う。
 - (3) 薬剤部より月1回「DI EXPRESS」を発行している。
 - (4) 処方オーダーなど病院情報システムを利用するものについては、医療情報部と連携し、情報を当該端末機にホームページでお知らせする。
 - (5) 心電図検査・心機能検査が求められる医薬品について、リスクに応じて処方時にアラートを表示し、注意喚起している。
 - (6) 転倒転落防止のための不眠時指示のフローチャートを作成し、全病棟の配置薬を該当の薬剤に統一している。
 - (7) 投与間隔が必要な医薬品処方時にアラートを表示し、注意喚起している。
 - (8) 特定薬剤の血中濃度モニタリングを実施する。
 - (9) リスクマネージャー連絡会議などを通じて事故防止対策を周知している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年36回
・ 研修の主な内容： 特定機能病院指定分(院外研修含む) 人工心肺装置及び補助循環装置, 人工呼吸器, 血液浄化装置, 除細動装置(自動体外式除細動器; AEDを除く), 閉鎖式保育器, 診療用高エネルギー放射線発生装置(直線加速器等), 診療用放射線照射装置(RALS等) 計29回 新規導入分 補助循環装置, 手術用デバイス, 気腹排煙装置, 胎児鏡用レーザー装置, 人工呼吸器, シリンジポンプ, レーザードップラー血流計 計7回 研修内容には、以下の事項を含む。 医療機器の有効性・安全性に関する事項 使用方法に関する事項 保守点検に関する事項 不具合等が発生した場合の対応に関する事項 特に法令上遵守すべき事項	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 人工心肺装置及び補助循環装置, 人工呼吸器, 血液浄化装置, 除細動装置(自動体外式除細動器; AEDを除く), 閉鎖式保育器, C Tエックス線装置(医用X線C T装置), 診療用高エネルギー放射線発生装置(直線加速器等), 診療用放射線照射装置(ガンマナイフ等), 磁気共鳴画像診断装置(M R I 装置)	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) (情報収集の方法) (1) 添付文書の保管 各保守点検実施責任者への添付文書、取扱説明書、修理報告書の保管の周知 (2) 安全情報の収集 厚生労働省やPMDAからの通達等、メーカーからの通知等、学会の指針等 (情報の周知方法) ・ 「MEだより」の発行 ・ 「医療機器安全だより」メーリングリスト ・ 厚労省通達・メーカーからの回収情報等 ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)： ・ その他の改善のための方策の主な内容：	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
・ 責任者の資格（☒医師・☐歯科医師） ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者に「安全・個人情報担当」の副病院長（医師）をもって充て、医療安全管理部門、医療の質・安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☒ 有（8名）・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 収集した医薬品情報を3分類（最重要、重要、その他）し、使用患者、処方医等を調査し医薬品安全性情報等を院内メール、院内通知書、DI Expressで病院全職員へ周知すると共に、最重要、重要な項目については各病棟担当薬剤師が追加説明等を行う体制を構築している。周知確認は、重要度にあわせて署名者を指定（全職員又は関連職員）するなどし、薬剤部DIセンターで関連書類を管理している。今年度は最重要に該当した「ページニオ錠」による重篤な間質性肺疾患に関する安全性速報に対し、院内全職員の周知確認の署名を回収した。 ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 未承認、適応外、禁忌等医薬品を使用する診療科は新規医療審査室の審査を受ける。なお、医薬品の適応外・禁忌使用については、病棟薬剤業務及びセントラル業務を通じて把握を行い、医師が「医薬品の適応外等使用に係る申請書」により新規医療審査室に申請する。申請書をもとにリスク分類（A、B、C）し、リスクAは未承認新規及び適応外等医薬品評価委員会での審査・事後検証・患者への文書説明と同意取得、リスクBは必要に応じて評価委員会での審査・事後検証を実施し、患者への文書説明と同意取得、リスクCは患者への口頭説明と同意取得（診療録に記録）を原則とすることとしている。また、医薬品の禁忌使用の把握については、薬剤部の調剤支援システム（禁忌チェックシステム）を利用している。 ・ 担当者の指名の有無（☒有・無） ・ 担当者の所属・職種： （所属：医療の質・安全管理部，職種：薬剤師）（所属：薬剤部 DI センター，職種 薬剤師）	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	☒ 有・無
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (☒有・無) ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：診療情報管理士による侵襲性の高い診療行為（手術等）の点検を行い、診療録等に関する委員会にて報告し是正を勧告している。また、診療録等の監査においても、説明書・承諾書の記載内容等について改善指導を行っている。	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	☒ 有・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 診療録等の量的及び質的点検 ⇒診療情報管理士による点検（日常業務） 診療録等の質的監査 ⇒各診療科から選出された医師による監査（年2回開催） 監査結果を診療録センター運営委員会で報告し、記載不備等があれば該当診療科へ是正を勧告している。また、令和元年8月から、一連のプロセス（入院から退院まで）を、患者へのアプローチや適切な記録が記載されているかを他職種の視点で確認し、同時に監査を行う『院内ケアプロセス調査』を開始した。（1診療科／月）	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	☒ 有・無
・所属職員：専従（3）名、専任（2）名、兼任（19）名 うち医師：専従（0）名、専任（2）名、兼任（6）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（6）名 うち診療放射線技師：専従（0）名、専任（0）名、兼任（1）名 うち臨床検査技師：専従（0）名、専任（0）名、兼任（1）名 うち事務：専従（0）名、専任（0）名、兼任（4）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること	

・活動の主な内容：

- (1) 医療の質・安全管理委員会の議事録作成及び庶務に関すること。
- (2) 医療の質・安全管理委員会から提案された業務の実施に関すること。
- (3) 医療事故及びインシデント報告の分析並びに再発防止策の検討及び提言に関すること。
- (4) 医療事故防止策の実施状況の必要に応じた調査及び防止策の見直し・立案に関すること。
- (5) 院内死亡事例の検証に関すること。
- (6) 医療の安全管理に係る企画・立案及び広報並びに啓蒙・啓発に関すること。
- (7) リスクマネジャーとの連絡調整に関すること。
- (8) 医療の安全管理に係る教育・研修に関すること。
- (9) 他の委員会に対する勧告案の作成に関すること。
- (10) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認等に関すること。
- (11) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認等に関すること。
- (12) 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認等に関すること。
- (13) その他医療安全対策の推進に関すること。

・医療安全に資する診療内容についてのモニタリングの具体例：

転倒・転落件数、転倒・転落による骨折・頭蓋内出血件数、患者間違い件数、オカレンス報告、医療の質を示す指標（Quality Indicator）の設定

・従事者の医療安全の認識についてのモニタリングの具体例：

年2回実施する「医療安全講習会」の研修時に理解度確認テストを実施

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（☒有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒有・無）

・活動の主な内容：

申請内容の確認、及び当該医療技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ、当該医療技術の提供の適否等を決定し、申請を行った診療科長等に対してその結果を通知する。また、当該医療技術が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、モニタリングし、その内容を病院長、医療の質・安全管理委員会等に対して報告する。

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒有・無）

- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（☒有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（☒・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒・無）
- ・活動の主な内容：

申請内容の確認、及び当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等について意見を求め、その意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等を決定し、申請を行った診療科長等に対してその結果を通知する。また、当該未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、モニタリングし、その内容を病院長、医療の質・安全管理委員会等に対して報告する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（☒・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 177 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 138 件（インシデントレベル 3b 以上）
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

毎月 1 回の定例会議において、医療安全管理部門から前々月分の院内死亡事例の検証結果についての報告を受けて、医療事故調査制度への報告の判断等について検討を行う。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（☒（病院名：新潟大学医歯学総合病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（☒（病院名：岐阜大学医学部附属病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況
 - ・医療の質・安全管理委員会委員に歯科医師、管理栄養士を加えた。

- ・医師からのインシデント報告が少ないため、医療安全講習会で、インシデント事例を取り上げて、医師にインシデント報告してもらうよう周知した。併せて、オカレンス報告についても行ってもらうよう周知した。
- ・高難度新規医療技術、未承認医薬品、適応外医薬品、未承認医療機器、適応外医療機器の審査窓口を一本化し、診療科が申請しやすい医療環境を整えた。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

院内に患者相談窓口を設置しており、相談内容によって該当部署（医療安全管理に係る相談については医事課医療安全係）が対応している。

患者の希望に添った形で相談を受けており、相談の取扱いについては、早期解決に努め、相談情報の秘密保護に万全を期すとともに、患者や家族に不利益を与えないように配慮している。また、相談場所として、プライバシーを守る部屋を設置して対応している。なお、苦情相談専用番号は設置していないが、各部署と連携を取り、解決にあたっている。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

全職員を対象に年2回の医療安全に関する講習会を実施しており、全職員が受講できるように複数回のビデオ講習会を実施している。その他、職種別（新規（中途）採用医師、研修医、看護師・コメディカル）に医療に係る安全管理のための研修会を随時実施している。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

日本医療機能評価機構が実施する「平成30年度特定機能病院管理者研修」に、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者が参加し、医療に係る安全管理のための研修を受講した。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

山口大学医学部附属病院長選考規則において、「(1)医師免許を有する者、(2)病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者、(3)教育研究及び診療に必要な資質及び能力を有する者、(4)医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有する者」として規定し、詳細は病院長選考基準に定めることとしている。

・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (☒ 有 ・ 無)

・ 公表の方法

山口大学ホームページに掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無

☒ 有 ・ 無

・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (☒ 有 ・ 無)

・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (☒ 有 ・ 無)

・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (☒ 有 ・ 無)

・ 公表の方法

山口大学ホームページに掲載

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
古賀 和利	山口大学理事	○	山口大学医学部附属病院長候補 適任者選考会議規則第3条第1 項第1号に基づく学長が指名す る理事	☒ 有 ・ 無
谷澤 幸生	山口大学医学部長 ・医学科長		山口大学医学部附属病院長候補 適任者選考会議規則第3条第1 項第2号・第3号に基づく役職指 定	☒ 有 ・ 無
松山 豪泰	山口大学医学部附 属病院副病院長		山口大学医学部附属病院長候補 適任者選考会議規則第3条第1 項第4号に基づく学長が指名す る医学部附属病院副病院長	☒ 有 ・ 無

原田 美佐	山口大学医学部附属病院看護部長		山口大学医学部附属病院院長候補適任者選考会議規則第3条第1項第5号に基づく役職指定	☒ 有・ ☐ 無
矢野 忠生	医療法人矢野外科 医院院長		山口大学医学部附属病院が属する宇部・山陽小野田医療圏の医療等の状況について豊富な経験と高い識見を有している。	☒ 有・ ☐ 無
安部 研一	宇部商工会議所会 頭 宇部マテリアルズ 株式会社顧問		山口大学医学部附属病院が所在する宇部市の経済事情に精通し、経営に関する豊富な経験と高い識見を有している。	☒ 有・ ☐ 無
齋藤 宗房	山口トヨタ自動車 株式会社代表取締役 社長 テレビ山口株式会 社代表取締役社長		山口県の経済事情に精通するとともに、本学経営協議会学外委員として本学の状況等について深い識見を有している。	☒ 有・ ☐ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有・無	
・合議体の主要な審議内容 病院の予算及び経営に関する事項、規則の制定及び改廃に関する事項、その他病院の管理運営に関する事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 病棟医長等が出席する病院連絡協議会において周知している。また、会議資料、議事概要を学内ウェブページに掲載し、従業者が閲覧できる環境を設けている。 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・無） ・公表の方法 山口大学ホームページに掲載 ・外部有識者からの意見聴取の有無（有・無）			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
坂井田 功		医師	第一内科長
矢野 雅文		医師	第二内科長
谷澤 幸生		医師	第三内科長
神田 隆		医師	神経内科長
中川 伸		医師	精神科神経科長
長谷川 俊史		医師	小児科長
松永 和人		医師	呼吸器・感染症内科長
濱野 公一		医師	第一外科長
永野 浩昭		医師	第二外科長
坂井 孝司		医師	整形外科長
下村 裕		医師	皮膚科長
高須 啓之		医師	形成外科長
松山 豪泰		医師	泌尿器科長
木村 和博		医師	眼科長
山下 裕司		医師	耳鼻咽喉科長
伊東 克能		医師	放射線科長
田中 秀和		医師	放射線治療科長
杉野 法広	○	医師	病院長、産科婦人科長
松本 美志也		医師	麻酔科蘇生科長
鈴木 倫保		医師	脳神経外科長
三島 克章		歯科医師	歯科口腔外科長
山崎 隆弘		医師	検査部長
鶴田 良介		医師	先進救急医療センタ

			一長
黒川 典枝		医師	総合診療部長
石田 博		医師	医療情報部長
北原 隆志		薬剤師	薬剤部長
星井 嘉信		医師	病理診断科長
伊藤 浩史		医師	遺伝・ゲノム診療部長
白澤 文吾		医師	医学教育学講座教授 (その他病院長が必要と認めた者)
原田 美佐		看護師	看護部長
調 卓二		事務職員	事務部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 公表の方法
大学ウェブページに掲載
- ・ 規程の主な内容
病院長が有する人事に関する権限として、山口大学医学部附属病院規則において、診療科長、診療施設の部長等及び企画・管理部門の部長等に関する任命及び解任について規定している。
病院長が有する予算執行権限として、国立大学法人山口大学財務会計規則及び国立大学法人山口大学予算単位及び予算責任者取扱要項において、各予算単位に予算責任者を置くこととし、医学部附属病院の予算責任者として医学部附属病院長を規定している。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
副病院長5名を配置し、総務・広報、経営・企画、診療、教育、研究、医療連携、人事・労務、安全・個人情報管理及び患者サービスに関する事項を分掌している。病院の管理運営等に関し病院全体の立場に立ち企画、立案を行い、病院長に提言する者として病院長補佐3名を配置している。
また、病院の経営改善対策に関する事項等、病院運営審議会から委託された事項を審議する代議員会として、病院長、副病院長、病院長補佐、薬剤部長、看護部長及び事務部長を構成員とする病院戦略会議を設置している。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
病院の執行部として、副病院長は病院運営審議会の委員のうちから病院長が指名し、病院運営審議会の議を経て、学長に推薦し任命され、病院長補佐は病院運営審議会において選出することにより、管理運営に精通するよう適切な人事を行っている。
研修については、国立大学附属病院長会議等が主催する「病院長塾」、次世代の病院執行部を担う人材育成を目的とした「病院経営次世代リーダー養成塾」に病院長、副病院長が参加し、管理運営に関する研修を受けている。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					☒ 有・無
・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 ・ 活動の主な内容： （１）医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について管理者等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施する。 （２）必要に応じ、本院の開設者又は管理者に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明する。 （３）（１）、（２）に掲げる活動について、その結果を公表する。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 委員名簿の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 委員の選定理由の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 公表の方法：大学ウェブページに委員名簿及び選定理由を掲載					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
河村 康明	山口県医師会	○	医療に係る安全管理に関する専門的知識を有するため	有・ ☒ 無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
大田 明登	大田明登法律事務所		法律に関する識見を有するため	有・ ☒ 無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
玉田 英生	宇部興産株式会社		医療を受ける者の代表者	有・ ☒ 無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1. に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

国立大学法人山口大学内部監査室が、年度計画書に基づき定期監査を実施している。平成30年度は、人事・労務管理の状況、保有個人情報等の管理状況、情報セキュリティ対策の実施状況について監査を実施した。

・ 専門部署の設置の有無（ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

・ 内部規程の整備の有無（ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

・ 内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

・ 公表の方法
山口大学ホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

- ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況

学長、理事、副学長、医学部附属病院長及び学外委員により構成する経営協議会において、法人の中期計画・中期目標、年度計画、予算、決算及び業務実績について審議している他、医学部附属病院の経営実績及び経営計画について審議している。

- ・ 会議体の実施状況（ 年5回 ）
- ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒有・無 ）（ 年4回 ）
- ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒有・無 ）
- ・ 公表の方法
山口大学ホームページに掲載

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：国立大学法人山口大学経営協議会

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
岡 正朗	山口大学長	○	☒ 有・無
古賀 和利	山口大学理事・副学長		☒ 有・無
田中 和広	山口大学理事・副学長		☒ 有・無
小坂 慎治	山口大学理事・副学長		☒ 有・無
福田 隆真	山口大学理事・副学長		☒ 有・無
堀 憲次	山口大学理事・副学長		☒ 有・無
根ヶ山 徹	山口大学副学長		☒ 有・無
白井 睦則	山口大学副学長		☒ 有・無
三浦 房紀	山口大学副学長		☒ 有・無
杉野 法広	山口大学副学長、医学部附属病院長		☒ 有・無
鍋山 祥子	山口大学副学長		☒ 有・無

安達 秀樹	株式会社トクヤマ 取締役専務執行役員		有・無
今村 孝子	山口県医師会 副会長		有・無
岩田 幸雄	山口放送株式会社 代表取締役社長		有・無
梅本 裕英	株式会社山口フィナンシャルグループ 取締役副社長		有・無
鎌田 積	一般財団法人日本開発構想研究所 理事		有・無
齋藤 宗房	山口トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長、テレビ山口株式会社 代表取締役社長		有・無
桜井 博志	旭酒造株式会社 会長		有・無
下村 輝夫	福岡工業大学長		有・無
末永 久大	弁護士法人末永法律事務所 弁護士		有・無
竹下 道夫	宇部興産株式会社 取締役		有・無
七村 守	株式会社セプテーニ・ホールディングス 名誉会長		有・無
原山 優子	前内閣府 総合科学技術・イノベーション会議常勤議員、東北大学 名誉教授		有・無
弘中 勝久	山口県副知事		有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
・ 通報件数（年0件）
・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
・ 周知の方法 大学ウェブページに「医療安全管理に関する内部通報窓口について」として掲載

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	☒ 有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 2019年5月10日付けで「病院機能評価（機能種別版評価項目3rdG：Ver. 2. 0） 一般病院 3」に認定	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	☒ 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 ホームページ、HP、SNS、広報誌等の広報媒体を通して、情報を発信している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	☒ 有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 他科とのコンサルテーションを実施している。	

(様式第 8)

口大医総第 2 4 3 号
令和元年 1 0 月 4 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人山口大学長
岡 正 朗

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

日本医療機能評価機構が実施する「2019年度特定機能病院管理者研修」に、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者が参加する予定である。

2. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（3）名、専任（2）名、兼任（19）名
うち医師：専従（0）名、専任（2）名、兼任（6）名
うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名
うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（6）名
うち診療放射線技師：専従（0）名、専任（0）名、兼任（1）名
うち臨床検査技師：専従（0）名、専任（0）名、兼任（1）名
うち事務：専従（0）名、専任（0）名、兼任（4）名

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

令和2年度までに医療の質・安全管理部（医療安全管理部門）へ専従の医師を配置予定である。